

第4回 家庭での経済教育に関する調査

2007.11

野村証券株式会社

「家庭での経済教育に関する調査」について

90年代の不況から今日に至るまで、個人の生活意識が大きく変化してきています。国の年金制度への不安が増し、雇用形態も多様化しつつある現在、老後の生活をも見据えたライフプランへの意識、自分の生活は自分で考えていこうという意識が急速に高まっています。

一方、金融の自由化を受けて金融、証券の個人向け商品も充実してきており、個人の資産運用も多様な時代に入ってきました。また多くの個人投資家の参画によって、健全な投資環境を形成する証券市場の重要性がより広く認識されるようになりました。

「自己責任の時代」といわれるようになってから久しい昨今、資産の運用にはリスクとリターンを理解し、自分自身で判断することの大切さを多くの人が認識する時代になったといえます。

こうした時代にあって、家庭の中で、改めて経済に関する知識の重要性を意識する機会も増えてきているのではないのでしょうか。

本調査は、このような状況を背景に、高校生以下の子どもを持つ母親が、子育ての中で経済教育をどのように考えているか探ることを目的としています。本調査は、これまで隔年で計10回実施している「家計と子育て費用調査（エンジェル係数調査）」のアンケートの一部として行われ、別途集計と分析を加えてまとめたもので、今回で4回目の調査となります。

家庭での経済教育の実態と、母親の意識を探る参考となれば幸いです。

野村證券株式会社

目次

| | |
|-------------------------|----|
| 調査概要 | 3 |
| 対象者プロフィール | 4 |
| 調査結果の要約 | 9 |
| 調査結果の詳細 | |
| （1）家庭内でお金や経済について話をする機会 | 15 |
| （2）お金や経済について話している内容 | 18 |
| （3）今後お金や経済について話していきたい意向 | 22 |
| （4）今後お金や経済について話したい内容 | 25 |
| （5）家庭内経済教育の必要性 | 29 |
| （6）家庭内経済教育の充分度 | 32 |
| （7）家庭内経済教育の考え方 | 35 |
| （8）経済教育に必要な支援 | 37 |
| （9）子どもに望む職業タイプ | 40 |

調査概要

1.調査の目的

本調査は、首都圏と京阪神において、高校生以下の子供のいる世帯を対象に、家計における経済教育の実態と意識を把握することを目的として実施した。

2.調査の地域と対象

首都圏（東京通勤圏およびその周辺）、京阪神（京都大阪通勤圏およびその周辺）に居住する、高校生以下の子供がいる世帯の20代以上の母親を対象とした。

3.サンプル数

有効回収数 700（首都圏 350、京阪神350）

4.抽出方法

エリアと第一子学齢を基準としたクォータサンプリング

5.調査方法

郵送調査（及び回答内容詳細に関してファックスと電話による追尾調査）

6.調査の時期

2007年 7月

対象者プロフィール

対象者プロフィール(1)

FS1.本人年齢

| | | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 無回答 | |
|--------|-----------------|------|------|------|------|------|-----|
| 地域別 | 全体(n=700) | 8.6 | 52.0 | | 37.7 | 1.7 | 0.0 |
| | 首都圏(n=350) | 9.1 | 48.9 | | 40.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 京阪神(n=350) | 8.0 | 55.2 | | 35.4 | 1.4 | 0.0 |
| 第一子学齢別 | 乳幼児(n=104) | 34.6 | | 63.4 | | 1.0 | 1.0 |
| | 未就学児(n=116) | 12.1 | | 75.8 | | 12.1 | 0.0 |
| | 小学校1~3年生(n=120) | 8.3 | | 77.5 | | 14.2 | 0.0 |
| | 小学校4~6年生(n=120) | 0.0 | 61.7 | | 37.5 | 0.8 | 0.0 |
| | 中学生(n=120) | 0.0 | 28.3 | | 69.2 | 2.5 | 0.0 |
| | 高校生(n=120) | 0.0 | 7.5 | 86.7 | | 5.8 | 0.0 |

FS2.居住エリア

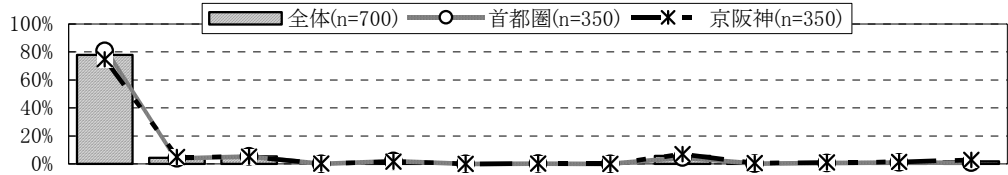
| | | 首都圏 | 京阪神 | |
|--------|-----------------|-------|-------|--|
| 地域別 | 全体(n=700) | 50.0 | 50.0 | |
| | 首都圏(n=350) | 100.0 | 0.0 | |
| | 京阪神(n=350) | 0.0 | 100.0 | |
| 第一子学齢別 | 乳幼児(n=104) | 50.0 | 50.0 | |
| | 未就学児(n=116) | 50.0 | 50.0 | |
| | 小学校1~3年生(n=120) | 50.0 | 50.0 | |
| | 小学校4~6年生(n=120) | 50.0 | 50.0 | |
| | 中学生(n=120) | 50.0 | 50.0 | |
| | 高校生(n=120) | 50.0 | 50.0 | |

FS3.本人職業

| | | 専業主婦 | パート、アルバイト等 | フルタイム勤務 | 自営業・その他 | 無回答 | |
|--------|-----------------|------|------------|---------|---------|-----|-----|
| 地域別 | 全体(n=700) | 63.7 | | 28.0 | 4.9 | 3.4 | 0.0 |
| | 首都圏(n=350) | 67.1 | | 22.9 | 6.3 | 3.7 | 0.0 |
| | 京阪神(n=350) | 60.3 | | 33.1 | 3.4 | 3.2 | 0.0 |
| 第一子学齢別 | 乳幼児(n=104) | 81.8 | | 11.5 | 3.8 | 2.9 | 0.0 |
| | 未就学児(n=116) | 63.8 | | 23.3 | 8.6 | 4.3 | 0.0 |
| | 小学校1~3年生(n=120) | 65.0 | | 26.7 | 5.8 | 2.5 | 0.0 |
| | 小学校4~6年生(n=120) | 65.9 | | 28.3 | 3.3 | 2.5 | 0.0 |
| | 中学生(n=120) | 52.5 | | 39.2 | 4.2 | 4.1 | 0.0 |
| | 高校生(n=120) | 55.8 | | 36.7 | 3.3 | 4.2 | 0.0 |

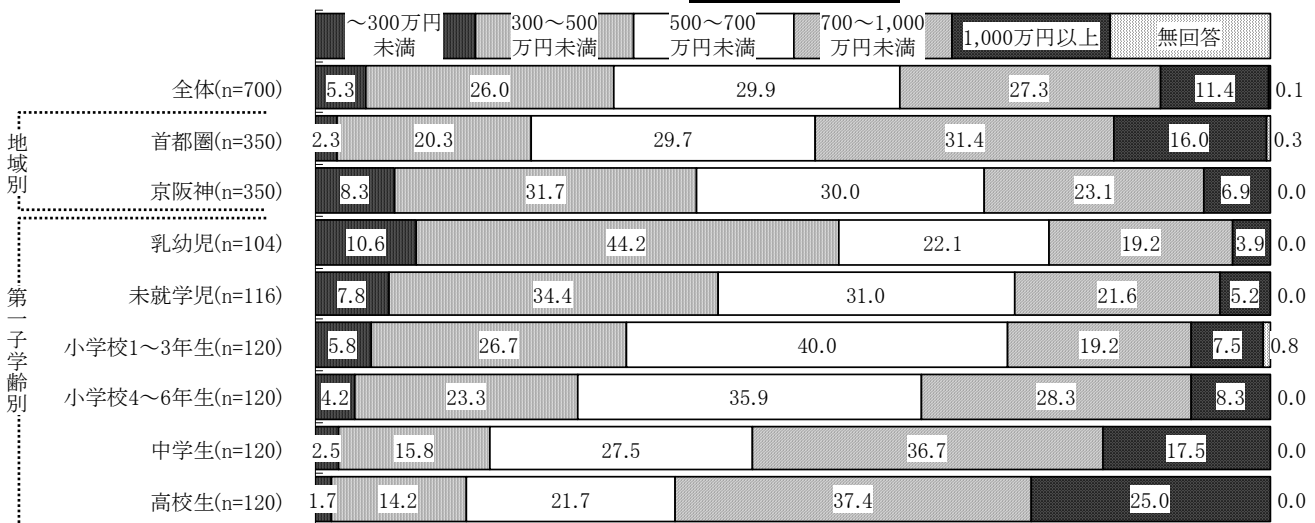
対象者プロフィール(2)

FS4.世帯主職業

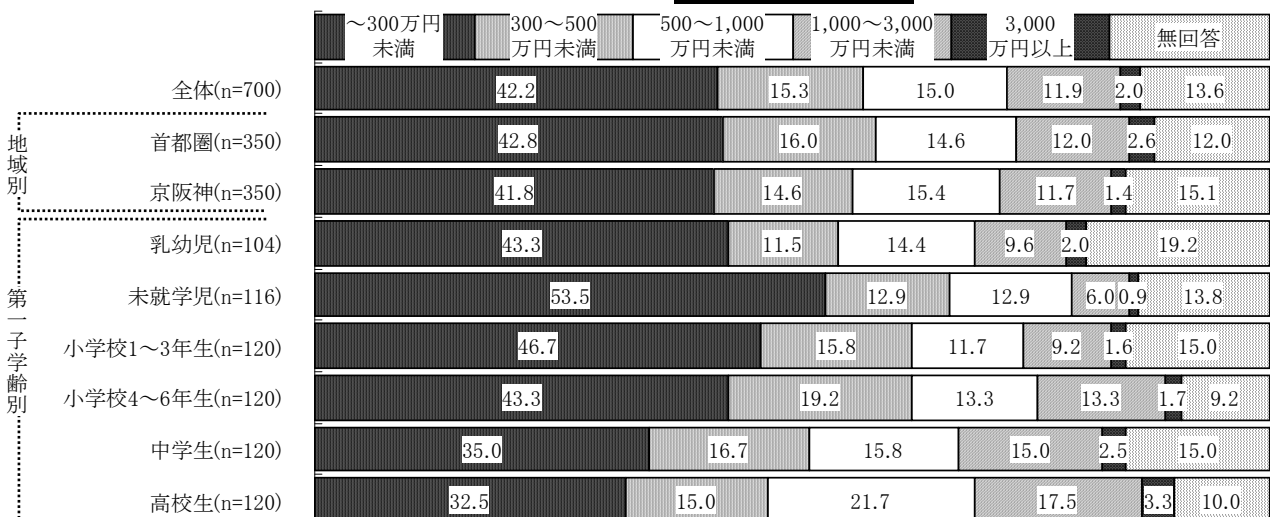


| ※表中の数値は(%) | | 会社員 | 会社役員 | 公務員 | 医師 | 自由業 | 弁護士 | 会計士 | 税理士 | 商工自営 | 農林漁業 | 教員 | 無職 | その他 |
|------------|-----------------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|
| | 全体(n=700) | 77.8 | 4.4 | 5.3 | 0.1 | 1.9 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 5.7 | 0.4 | 0.9 | 1.3 | 1.9 |
| 地域別 | 首都圏(n=350) | 80.8 | 4.0 | 5.4 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 4.6 | 0.3 | 0.6 | 1.1 | 0.9 |
| | 京阪神(n=350) | 74.8 | 4.9 | 5.1 | 0.3 | 1.7 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 6.9 | 0.6 | 1.1 | 1.4 | 2.9 |
| 第一子学 齢別 | 乳幼児(n=104) | 84.5 | 1.0 | 1.9 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 2.9 | 1.9 | 1.9 | 1.0 | 1.0 |
| | 未就学児(n=116) | 76.9 | 3.4 | 3.4 | 0.0 | 3.4 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 2.6 | 3.4 |
| | 小学校1～3年生(n=120) | 87.5 | 0.8 | 4.2 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.8 |
| | 小学校4～6年生(n=120) | 84.2 | 2.5 | 2.5 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.8 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 2.5 |
| | 中学生(n=120) | 66.7 | 8.3 | 9.2 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.2 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 2.5 |
| | 高校生(n=120) | 68.4 | 10.0 | 10.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.8 | 0.0 | 1.7 | 2.5 | 0.8 |

FS5①世帯年収

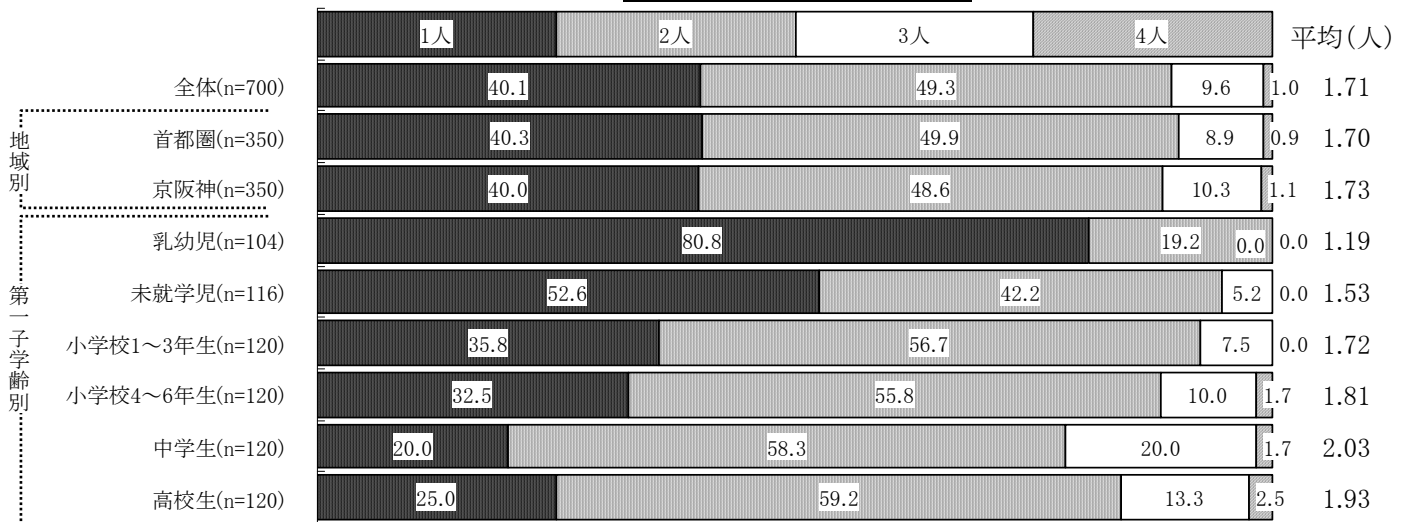


FS5②世帯貯蓄額

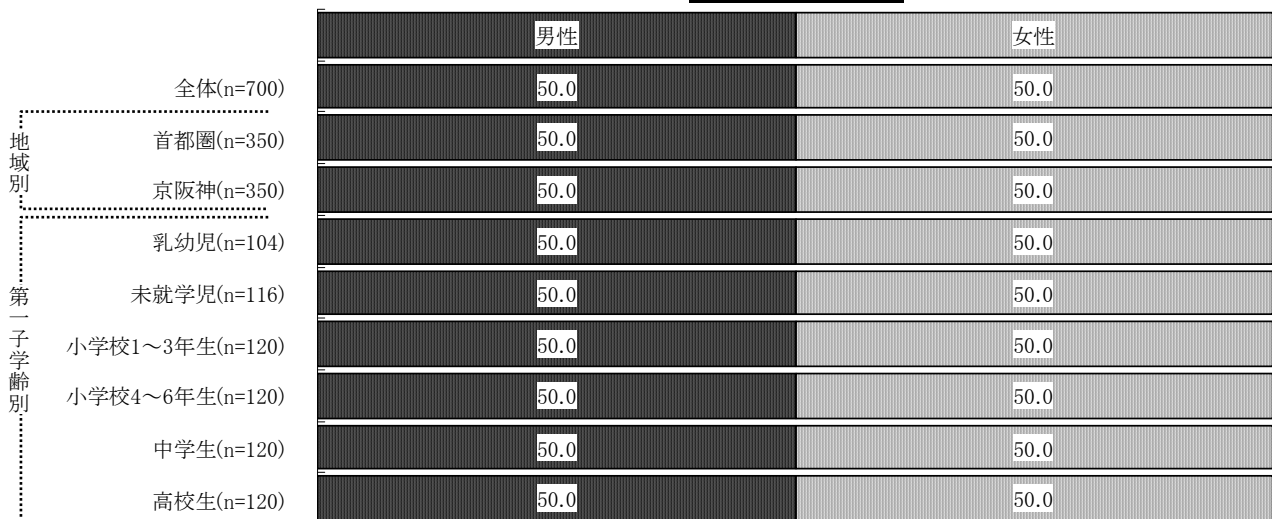


対象者プロフィール(3)

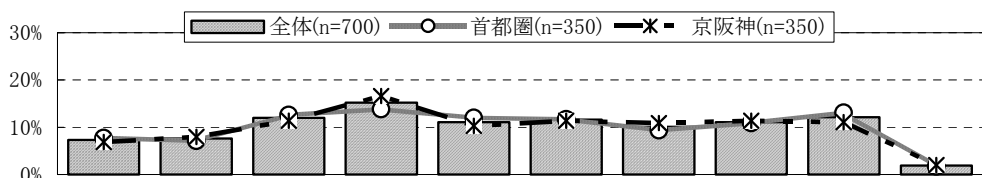
Q1.高校生以下の子供人数



Q2.(第1子)性別



Q2.(第1子)年齢



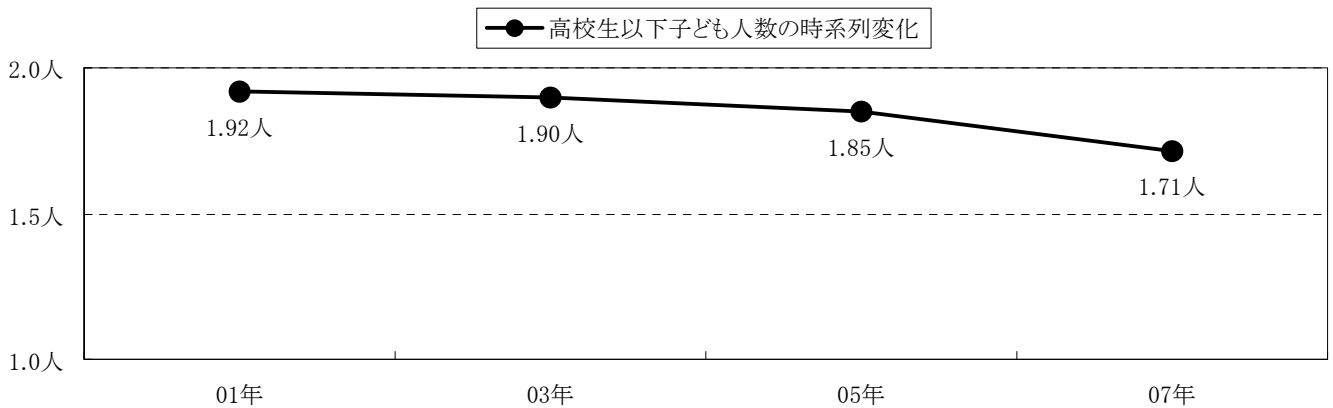
| ※表中の数値は(%) | | 0~1歳 | 2~3歳 | 4~5歳 | 6~7歳 | 8~9歳 | 10~11歳 | 12~13歳 | 14~15歳 | 16~17歳 | 18歳 | 平均 |
|------------|-----------------|------|------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 全体より10pt以上高い数値 | | | | | | | | | | | |
| | 全体より10pt以上低い数値 | | | | | | | | | | | |
| 全体(n=700) | | 7.3 | 7.6 | 12.0 | 15.2 | 11.1 | 11.6 | 10.1 | 11.1 | 12.1 | 1.9 | 9.1歳 |
| 地域別 | 首都圏(n=350) | 7.7 | 7.1 | 12.6 | 13.8 | 12.0 | 11.7 | 9.4 | 10.9 | 13.1 | 1.7 | 9.1歳 |
| | 京阪神(n=350) | 6.9 | 8.0 | 11.4 | 16.6 | 10.3 | 11.4 | 10.9 | 11.4 | 11.1 | 2.0 | 9.1歳 |
| 第一子学齢別 | 乳幼児(n=104) | 49.0 | 51.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.5歳 |
| | 未就学児(n=116) | 0.0 | 0.0 | 72.4 | 27.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.9歳 |
| | 小学校1~3年生(n=120) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 61.7 | 38.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.2歳 |
| | 小学校4~6年生(n=120) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 26.7 | 67.5 | 5.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.2歳 |
| | 中学生(n=120) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 53.3 | 46.7 | 0.0 | 0.0 | 13.3歳 |
| | 高校生(n=120) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.3 | 70.9 | 10.8 | 16.4歳 |

対象者プロフィール(4)

| | | Q2.(第1子)学年 | | | | | | |
|-----|------------|------------|------|------|--------------|--------------|------|------|
| | | 乳幼児 | 保育園児 | 幼稚園児 | 小学校 1～3年生 | 小学校 4～6年生 | 中学生 | 高校生 |
| 地域別 | 全体(n=700) | 14.9 | 4.4 | 12.1 | 17.3 | 17.1 | 17.1 | 17.1 |
| | 首都圏(n=350) | 14.9 | 5.1 | 11.4 | 17.3 | 17.1 | 17.1 | 17.1 |
| | 京阪神(n=350) | 14.9 | 3.7 | 12.9 | 17.2 | 17.1 | 17.1 | 17.1 |

<参考データ(1)>

- 01年以降の「高校生以下子ども人数」の平均値を時系列で見ると、少子化を裏付けるように、子ども人数は減少の傾向にあることがわかる。



<参考データ(2)>

- 「世帯年収」を時系列で見ると、今回調査は好景気と呼応して、「700万円以上」の高年収層が前回調査までよりも多く、「500万円以下」の層の割合が前回調査より少ない。

| | | 世帯年収の時系列変化 | | | | | |
|------------|--|------------|-------------|-------------|--------------|----------|-----|
| | | ～300万円未満 | 300～500万円未満 | 500～700万円未満 | 700～1000万円未満 | 1000万円以上 | 無回答 |
| 07年(n=700) | | 5.3 | 26.0 | 29.9 | 27.3 | 11.4 | 0.1 |
| 05年(n=700) | | 7.6 | 30.6 | 30.6 | 22.6 | 7.3 | 1.3 |
| 03年(n=700) | | 7.9 | 30.7 | 32.1 | 19.6 | 9.0 | 0.7 |
| 01年(n=700) | | 5.9 | 27.3 | 33.6 | 23.6 | 8.6 | 1.0 |

調査結果の要約

家庭内経済教育の実態と今後の意向

- 家庭内経済教育を9割以上の親はしていきたいと考えているがその実施率は64%。経済教育が必要だという考えも9割以上を占めるが、現状で充分とする人は21%に過ぎない。

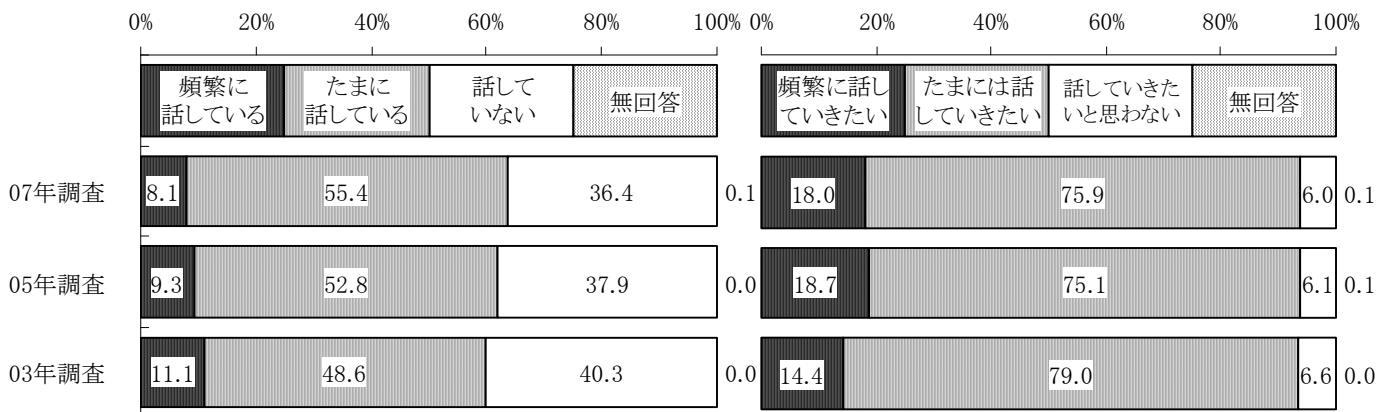
<家庭内経済教育の実態と意向(15~17、22~24 ページ参照)>

- 94%が家庭内で経済の「話をしていきたい」と考えているが、実際に「話している」のは64%に過ぎず、理想(意向)と実態には30ポイントの差がある。

- ・家庭内で経済やお金に関することを「話している(計)」のは63.5%。これはほぼ過去調査と同様の傾向。
- ・今後「話をしていきたい(計)」とする人は93.9%。これも従来通り。

【家庭内経済教育の実施・時系列変化】

【今後の家庭内経済教育意向・時系列変化】



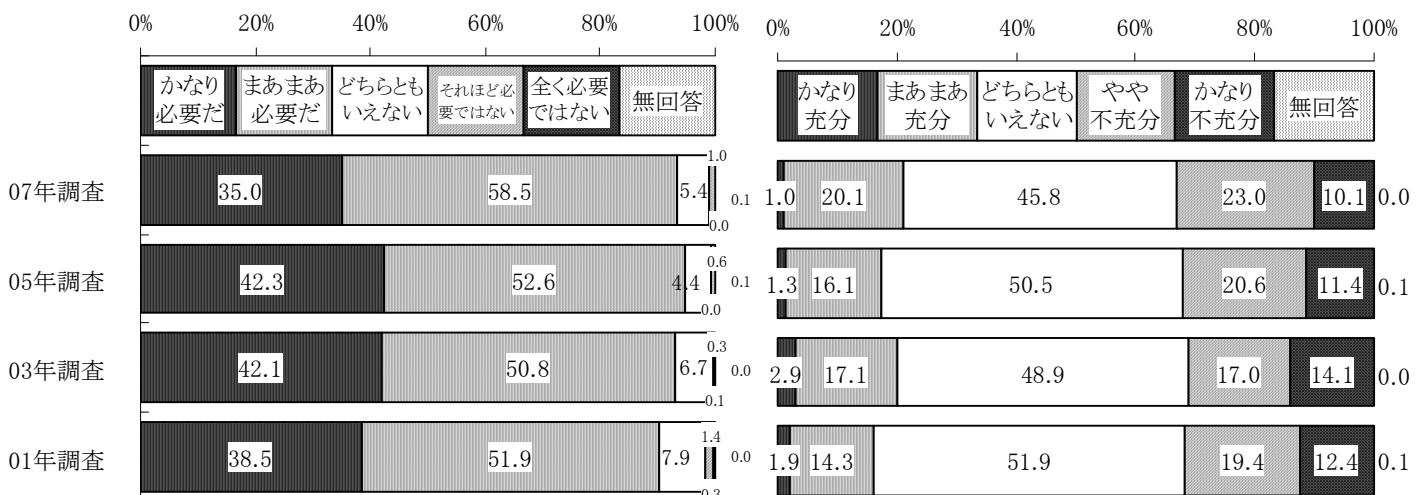
<家庭内経済教育の必要性と充分度(29~34 ページ参照)>

- 家庭内経済教育は94%が必要と考えているが、現状で「充分」という人は21%のみ。

- ・家庭内での経済教育を「必要(計)」と考えている人は93.5%。時系列で見ると「かなり必要だ」の割合は前回調査からやや減少した。
- ・家庭内経済教育が現状で「充分(計)」と考えている人は21.1%に過ぎない。「不充分(計)」は33.1%になる。

【家庭内経済教育の必要度・時系列変化】

【家庭内経済教育の充分度・時系列変化】



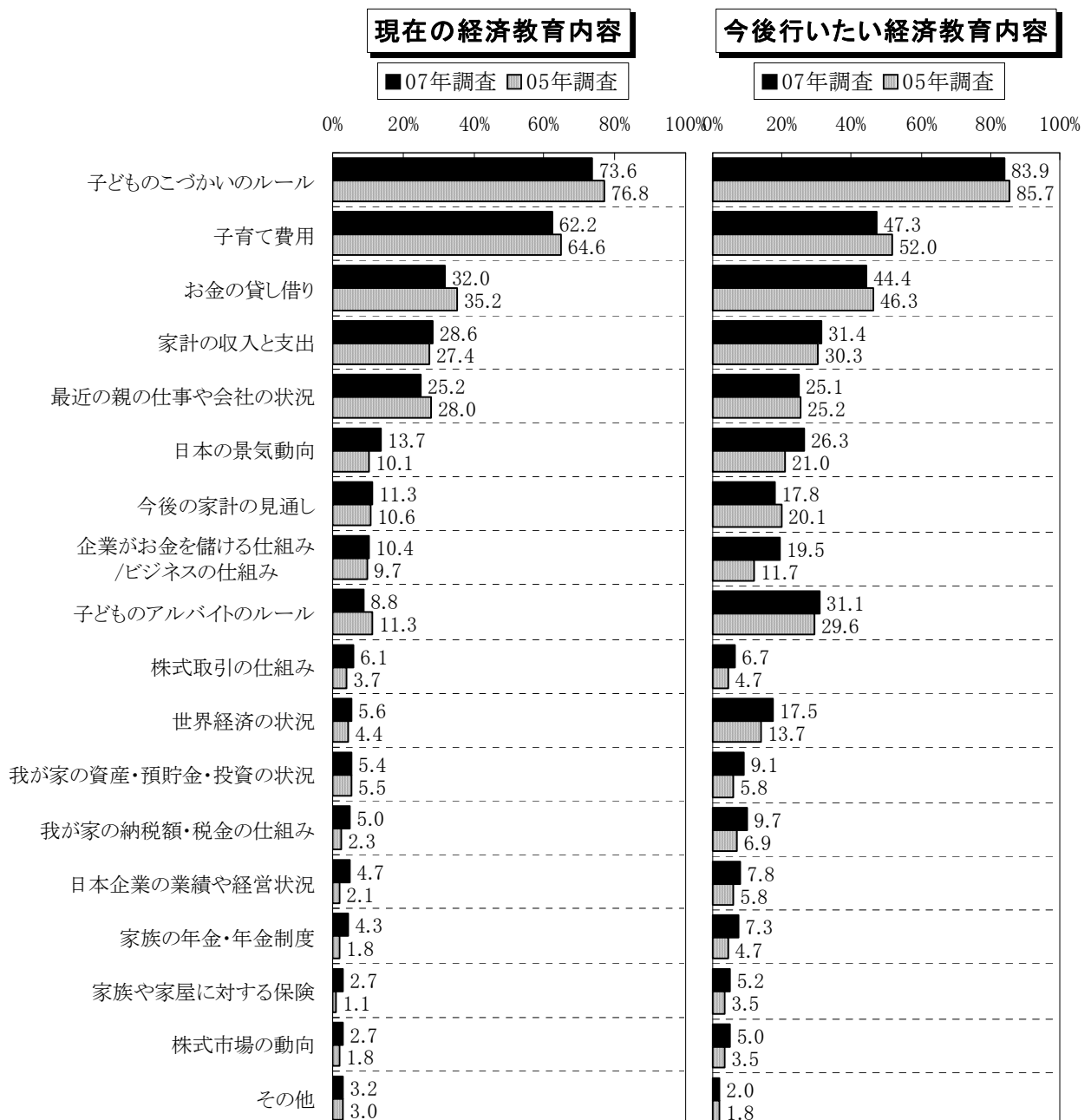
家庭内経済教育の内容

- 家庭内経済教育では「こづかいのルール」が現在も今後も最も多いテーマ。「子育て費用」「お金の貸し借り」「家計の収支」「アルバイトのルール」等も話していきたい。

＜経済教育内容の実態と意向(18～21、25～28 ページ参照)＞

- 「こづかいのルール」や「子育て費用」が教育内容の中心だが、今後はさらに「お金の貸し借り」「家計の収入と支出」「アルバイトのルール」といった点についても話していきたい。

- ・ 現在の経済教育内容は「こづかいのルール」「子育て費用」が6割を超える。
- ・ 今後行いたい経済教育内容も「こづかいのルール」がトップ。「子育て費用」「お金の貸し借り」が4割を超え、さらに「家計の収入と支出」「アルバイトのルール」等が続く。



※「現在話している人」ベース

※「今後話したい人」ベース

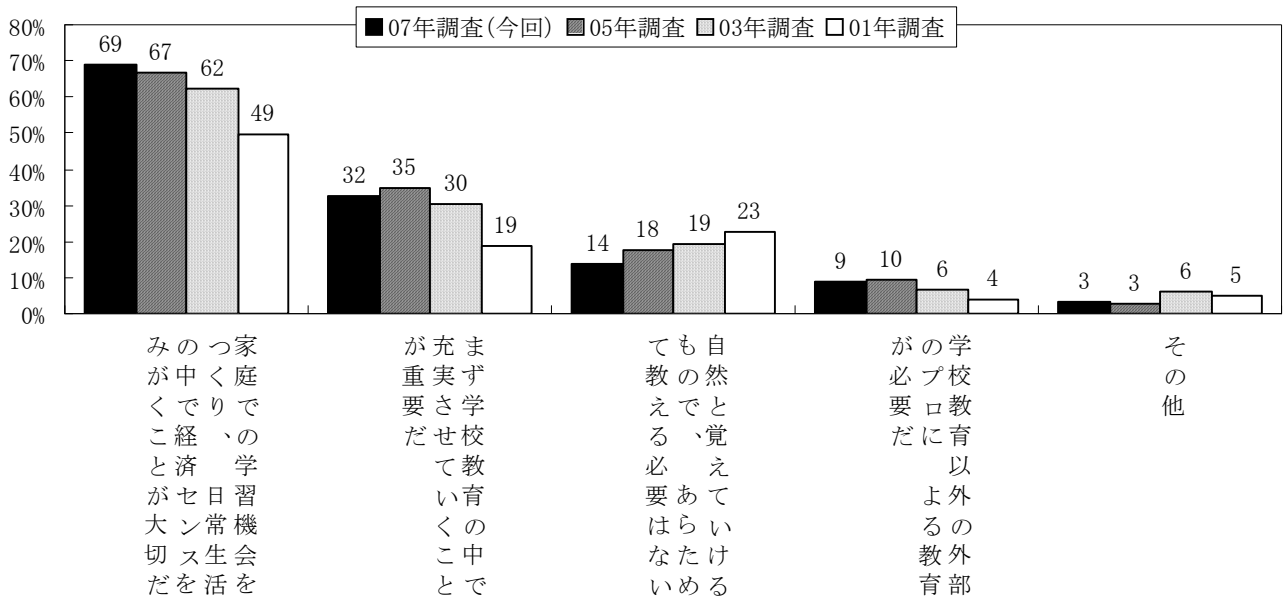
経済教育の考え方/必要な支援

●「家庭での学習機会」の必要性はますます高まり、必要な支援としては「参加型セミナーやイベント」が望ましい。

<経済教育の考え方(35～36 ページ参照)>

➤ 「家庭での学習機会」の必要性は増加し、「自然と覚えていける」という意見は減少。

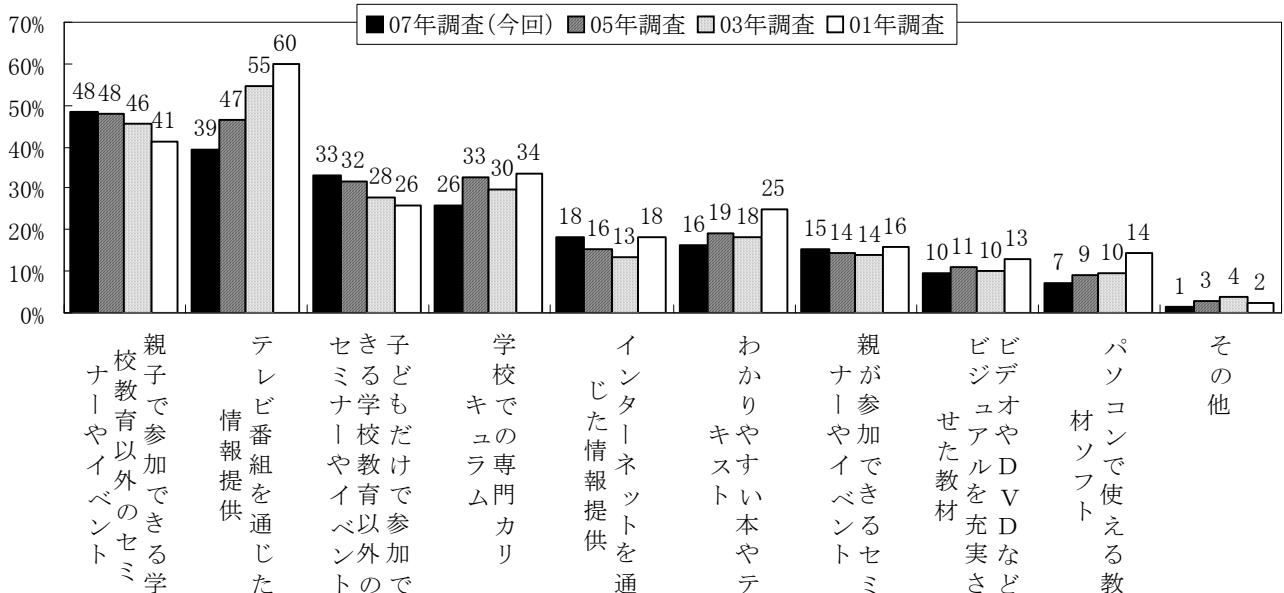
- ・ 経済教育の考え方としては「家庭での学習機会をつくり、日常生活の中で経済センスをみがくことが大切だ」が最も多く、これは時系列でみてもますます増加の傾向にある。
- ・ 次に「まず学校教育の中で充実させていくことが重要だ」。さらに「自然と覚えていけるもので、あらためて教える必要はない」が続くが、このスコアは調査を重ねるごとに低くなる。



<経済教育で欲しい支援(37～39 ページ参照)>

➤ セミナー/イベント等参加型支援の要請が高まる。

- ・ 経済教育を行うのであれば嬉しい支援として「親子で参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」がトップ、次いで「テレビ番組を通じた情報提供」。「子どもだけで参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」も含め、セミナー/イベントへの支援要請はますます高まる傾向にあり、テレビ番組の情報提供は減少傾向にある。

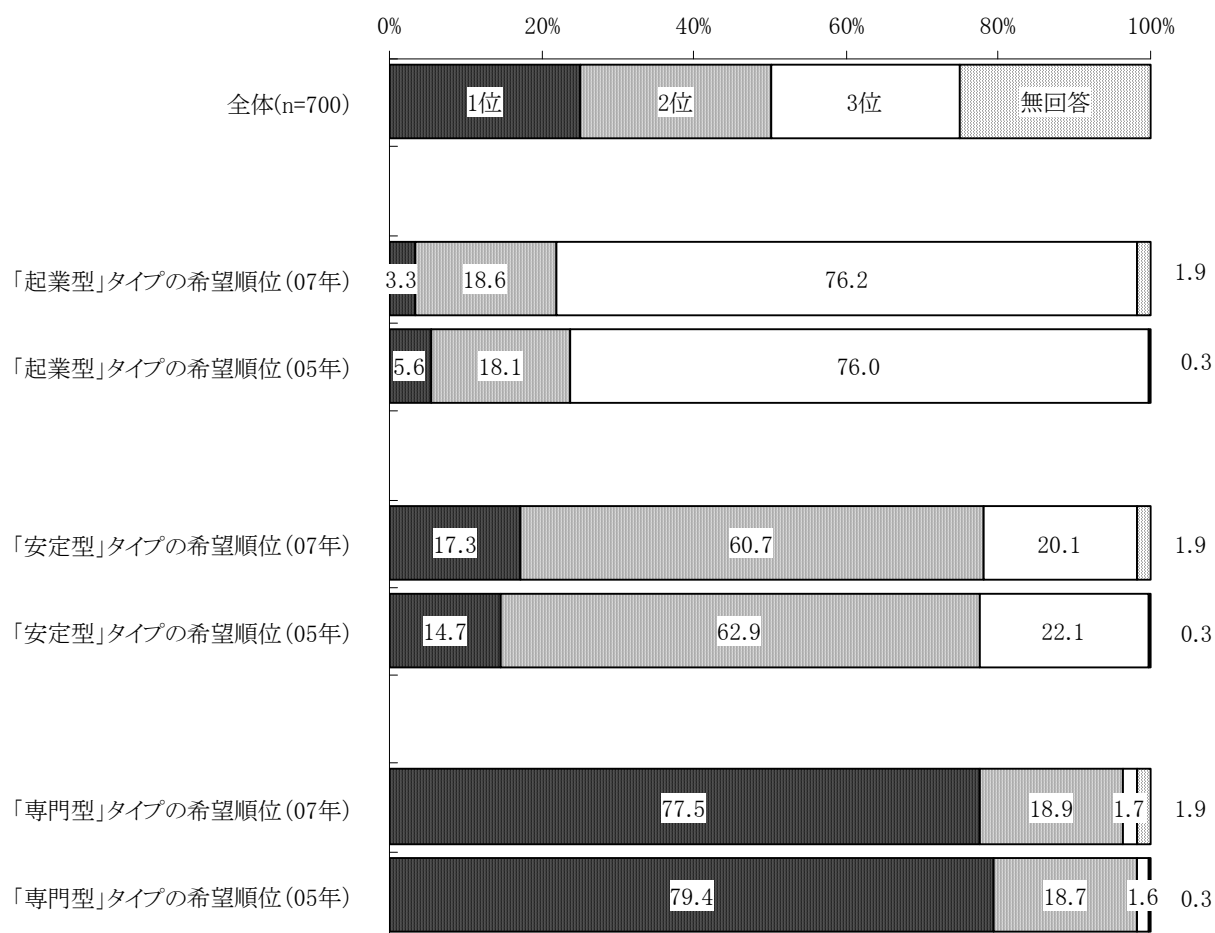


子どもに望む職業タイプ

● 前回同様「専門型」1位、「安定型」2位、「起業型」3位。

<子どもに望む職業タイプ(40~46 ページ参照)>

- ・ 会社を起こしていくような「起業型」タイプ、サラリーマンのような「安定型」タイプ、資格や専門技術を持つ「専門型」タイプの3つのうちでは、子どもになってほしい「順位」を聞くと、「1位」が多いのは「専門型」。「2位」が多いのは「安定型」。「3位」が多いのは「起業型」。
- ・ こうした傾向は前回調査とはほぼ同様である。

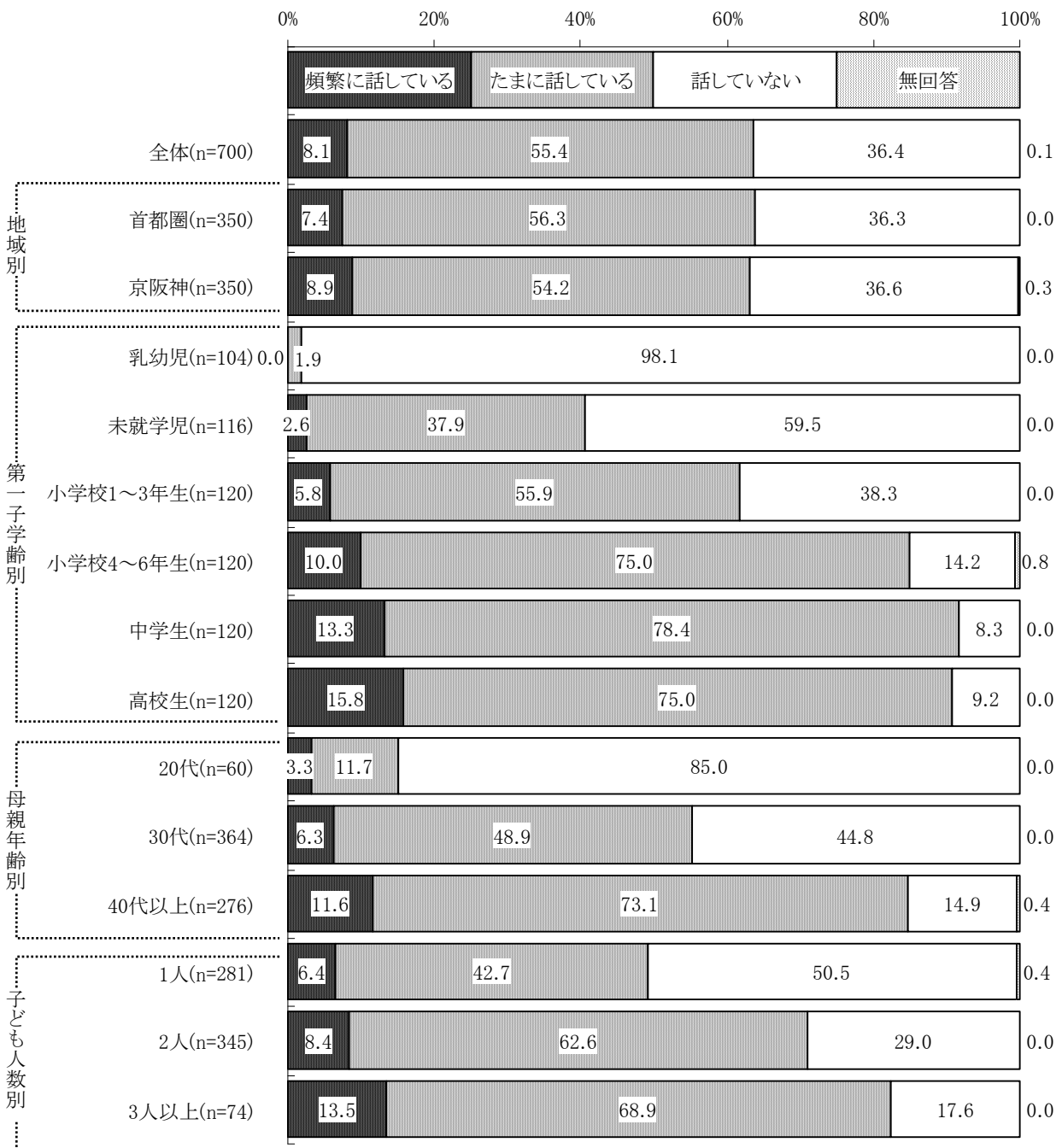


調査結果の詳細

1. 家庭内でお金や経済について話をする機会

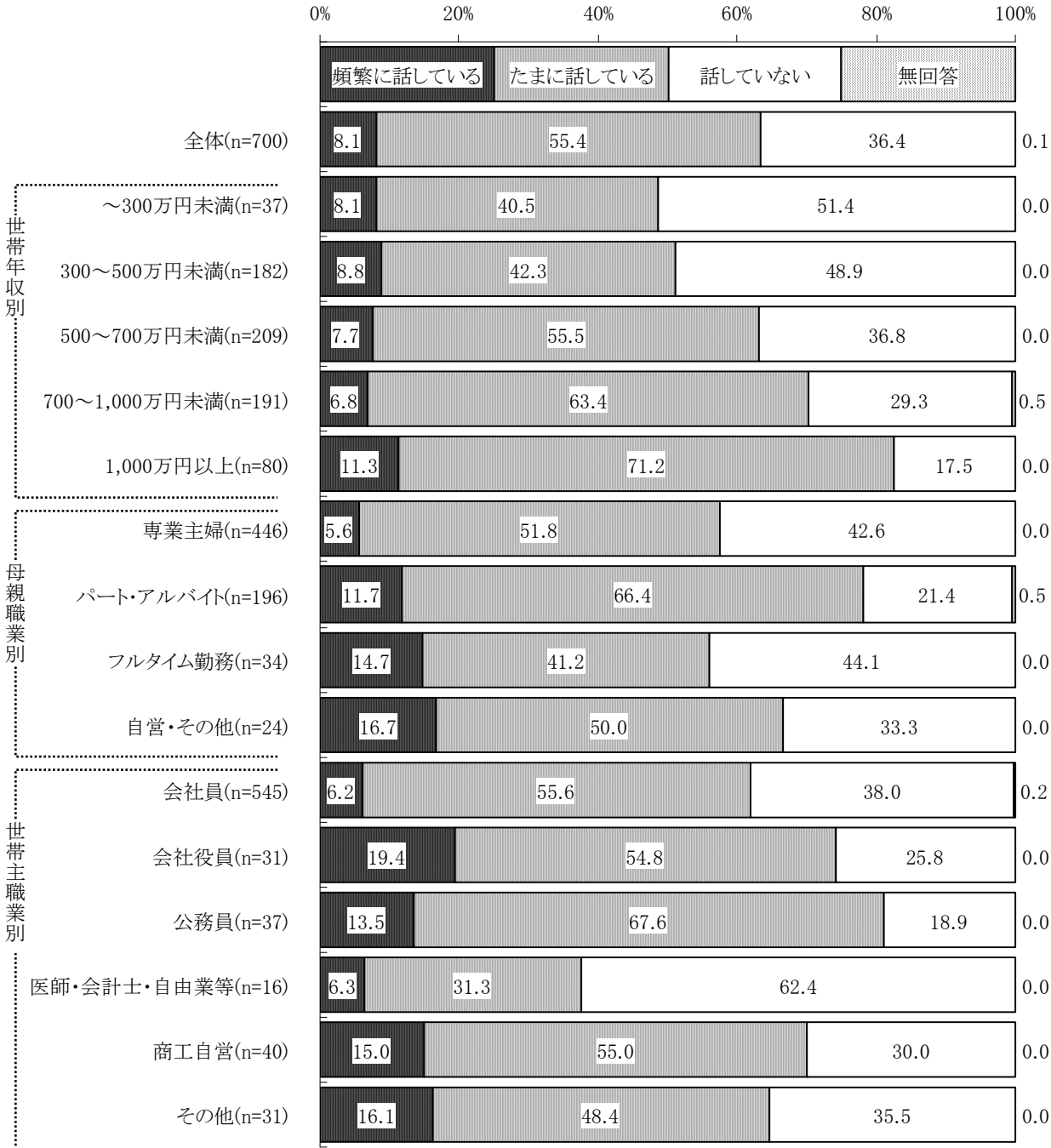
- お金や経済に関する事柄を家庭で「話している」割合は6割超。
- 「第一子学齢が高い」「母親年齢が高い」「子ども人数が多い」層ほどよく話す傾向がある。

- お金や経済にかかわる事柄について、子どもと「頻繁に話している」は8.1%、「たまに話している」(55.4%)を合わせると、63.5%となる。
- 第一子学齢別では、学齢があがるほど「頻繁に話している」の割合は増加。中学生、高校生では「頻繁に」+「たまに」話している割合が9割程度となる。
- 母親年齢別では、母親年齢が上がるほど「話している(計)」割合は高い。
- 子ども人数別では、子ども人数が多いほど「話している(計)」割合は高い。



- 年収が高い層ほど「話している」割合は高い。
- 母親職業が「パート・アルバイト」、世帯主職業が「公務員」「会社役員」で「話している」割合が高い。

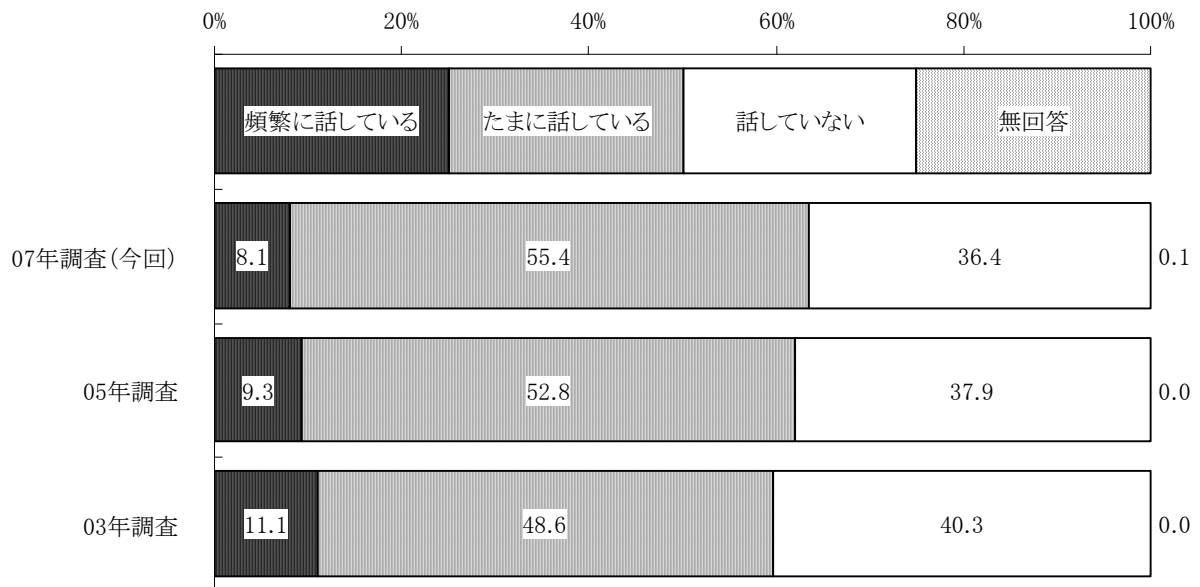
- 世帯年収別にみると、年収が高くなるほど「話している(計)」割合は高くなる。
- 母親職業別にみると、パート・アルバイトの層で最も「話している(計)」の割合が高い。
- 世帯主職業別にみると、「話している(計)」の割合が最も高いのは公務員、次いで会社役員。



時系列変化

➤ 時系列では目立った変化はないと言える。

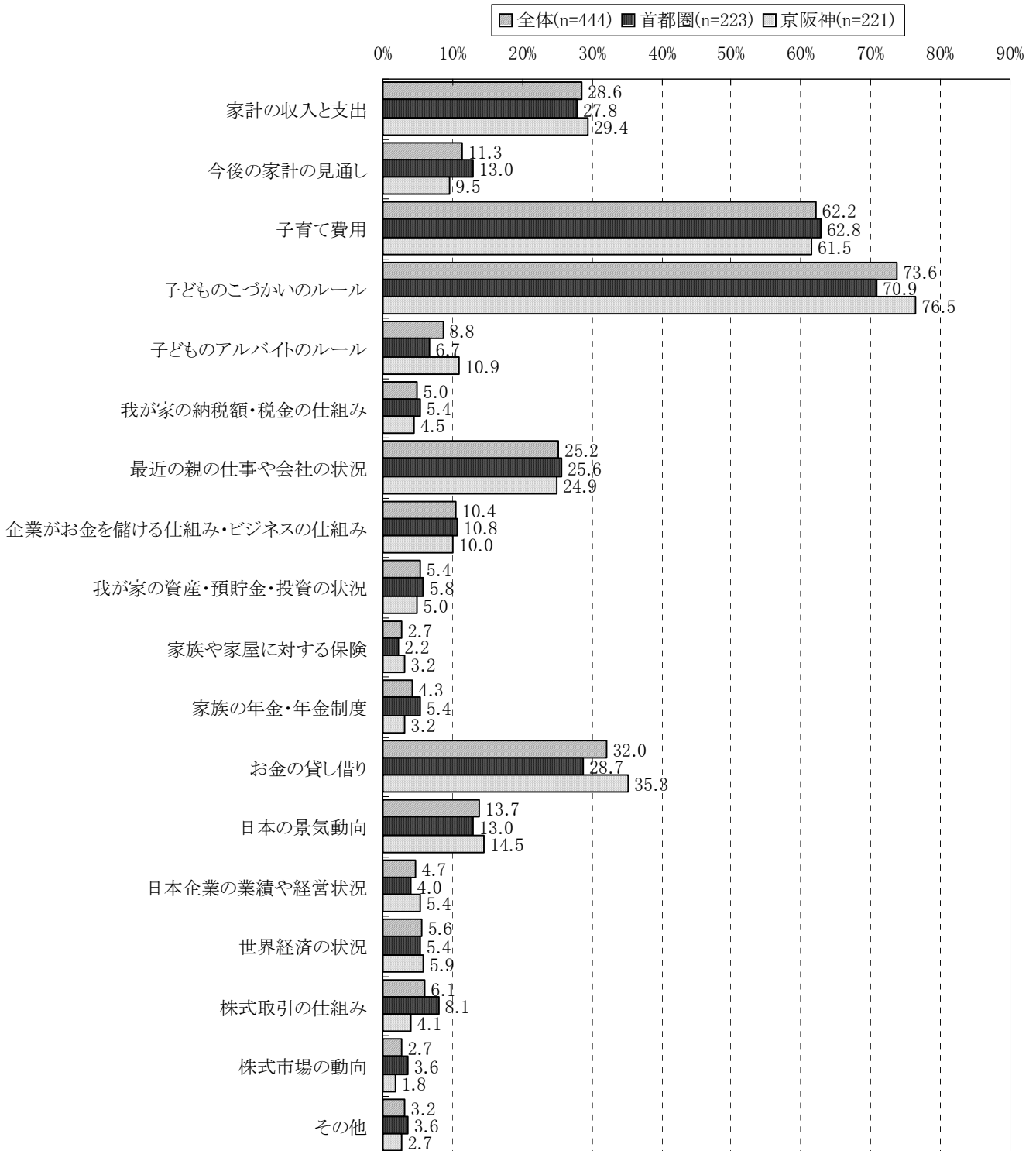
- 時系列ではほとんど変化はないと言えるが、「話している(計)」は微増の傾向、「頻繁に話している」は微減の傾向と言える。



2. お金や経済について話している内容

- 「こづかいのルール」や「子育て費用」について話すことが多い。
- 京阪神の方が「こづかいのルール」や「お金の貸し借り」について話している。

- 子どもとお金や経済の話を「話している(頻繁に+たまに)」と回答した人に、その内容を聞くと、最も多いのは「子どものこづかいのルール」(73.6%)。次いで「子育て費用」(62.2%)。他に「家計の収入と支出」「最近の親の仕事や会社の状況」「お金の貸し借り」といった点が3割前後みられる。
- 地域別にみると、「子どものこづかいのルール」「お金の貸し借り」は首都圏より京阪神の方がやや高い。



➤ 「こづかいのルール」は小学校高学年で、中学生では「お金の貸し借り」、高校では「アルバイトのルール」「日本の景気」について話すことが多い。

- 第一子学齢別にみると、「子どものこづかいのルール」は特に小学校 4～6 年生でよく話される。中学生は「お金の貸し借り」について話す割合が全体より高い。高校生では「子どものアルバイトのルール」「日本の景気動向」についての割合が全体より高い。
- 子ども人数別にみると、子ども人数が多いほど「子どものこづかいのルール」のスコアは高い。

| ※表中の数値は(%) ■ 全体より10pt以上高い数値 □ 全体より10pt以上低い数値 | 全体 (n=444) | 地域別 | | 第一子学齢別 | | | | | | 母親年齢別 | | | 子供人数別 | | |
|--|---------------|----------------|----------------|--------------|----------------|--------------------|---------------------|----------------|----------------|--------------|----------------|------------------|---------------|---------------|----------------|
| | | 首都圏 (n=223) | 京阪神 (n=221) | 乳幼児 (n=2) | 未就学児 (n=47) | 小学校1～3年生 (n=74) | 小学校4～6年生 (n=102) | 中学生 (n=110) | 高校生 (n=109) | 20代 (n=9) | 30代 (n=201) | 40代以上 (n=234) | 1人 (n=138) | 2人 (n=245) | 3人以上 (n=61) |
| 家計の収入と支出 | 28.6 | 27.8 | 29.4 | 50.0 | 21.3 | 31.1 | 25.5 | 29.1 | 32.1 | 22.2 | 27.9 | 29.5 | 27.5 | 29.8 | 26.2 |
| 今後の家計の見通し | 11.3 | 13.0 | 9.5 | 0.0 | 4.3 | 6.8 | 3.9 | 14.5 | 21.1 | 11.1 | 6.5 | 15.4 | 7.2 | 12.2 | 16.4 |
| 子育て費用 | 62.2 | 62.8 | 61.5 | 50.0 | 51.1 | 63.5 | 62.7 | 66.4 | 61.5 | 44.4 | 62.2 | 62.8 | 61.6 | 63.7 | 57.4 |
| 子どものこづかいのルール | 73.6 | 70.9 | 76.5 | 50.0 | 40.4 | 62.2 | 89.2 | 82.7 | 72.5 | 66.7 | 68.2 | 78.6 | 61.6 | 77.6 | 85.2 |
| 子どものアルバイトのルール | 8.8 | 6.7 | 10.9 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 2.9 | 2.7 | 29.4 | 0.0 | 3.5 | 13.7 | 8.0 | 9.0 | 9.8 |
| 我が家の納税額・税金の仕組み | 5.0 | 5.4 | 4.5 | 0.0 | 2.1 | 2.7 | 2.9 | 6.4 | 8.3 | 0.0 | 4.0 | 6.0 | 5.8 | 4.9 | 3.3 |
| 最近の親の仕事や会社の状況 | 25.2 | 25.6 | 24.9 | 0.0 | 14.9 | 23.0 | 21.6 | 28.2 | 32.1 | 33.3 | 24.9 | 25.2 | 26.8 | 25.3 | 21.3 |
| 企業がお金を儲ける仕組み・ビジネスの仕組み | 10.4 | 10.8 | 10.0 | 0.0 | 2.1 | 6.8 | 8.8 | 15.5 | 12.8 | 0.0 | 6.5 | 14.1 | 10.1 | 9.4 | 14.8 |
| 我が家の資産・預貯金・投資の状況 | 5.4 | 5.8 | 5.0 | 0.0 | 8.5 | 0.0 | 3.9 | 6.4 | 8.3 | 0.0 | 6.0 | 5.1 | 4.3 | 5.7 | 6.6 |
| 家族や家屋に対する保険 | 2.7 | 2.2 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 3.9 | 0.9 | 5.5 | 0.0 | 3.0 | 2.6 | 4.3 | 2.0 | 1.6 |
| 家族の年金・年金制度 | 4.3 | 5.4 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 2.0 | 3.6 | 11.0 | 0.0 | 1.0 | 7.3 | 6.5 | 2.9 | 4.9 |
| お金の貸し借り | 32.0 | 28.7 | 35.3 | 0.0 | 6.4 | 14.9 | 37.3 | 45.5 | 36.7 | 11.1 | 25.4 | 38.5 | 29.0 | 32.2 | 37.7 |
| 日本の景気動向 | 13.7 | 13.0 | 14.5 | 0.0 | 2.1 | 4.1 | 9.8 | 18.2 | 24.8 | 0.0 | 9.5 | 17.9 | 14.5 | 13.5 | 13.1 |
| 日本企業の業績や経営状況 | 4.7 | 4.0 | 5.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 9.1 | 9.2 | 0.0 | 1.5 | 7.7 | 5.1 | 4.1 | 6.6 |
| 世界経済の状況 | 5.6 | 5.4 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 2.9 | 8.2 | 11.0 | 0.0 | 4.5 | 6.8 | 2.9 | 6.9 | 6.6 |
| 株式取引の仕組み | 6.1 | 8.1 | 4.1 | 0.0 | 2.1 | 4.1 | 2.9 | 8.2 | 10.1 | 0.0 | 3.5 | 8.5 | 5.1 | 6.9 | 4.9 |
| 株式市場の動向 | 2.7 | 3.6 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 8.3 | 0.0 | 1.0 | 4.3 | 1.4 | 3.7 | 1.6 |
| その他 | 3.2 | 3.6 | 2.7 | 0.0 | 19.1 | 0.0 | 1.0 | 1.8 | 1.8 | 0.0 | 5.5 | 1.3 | 3.6 | 2.4 | 4.9 |

➤ 低年収層は「子育て費用」をよく話し、高年収層は「日本の景気動向」をよく話す。

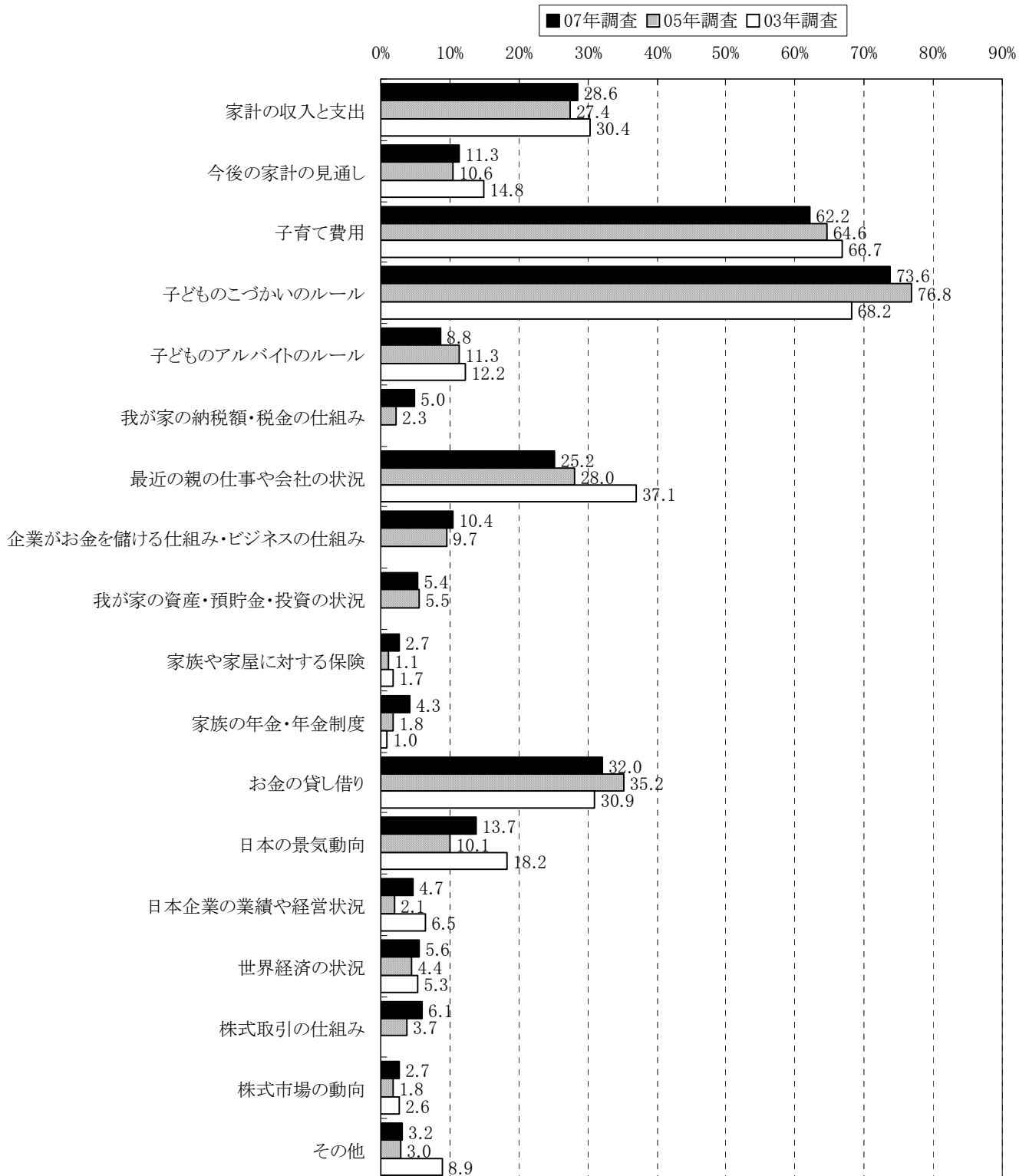
- 世帯年収別にみると、「子育て費用」について最もよく話されるのは～300万円未満の低年収層。「日本の景気動向」について最もよく話されるのは1,000万円以上の高年収層。
- 世帯主職業別にみると、公務員では「今後の家計の見通し」「企業がお金を儲ける仕組み・ビジネスの仕組み」「世界経済の状況」などの割合が全体より高い。

| | 全体 (n=444) | 世帯年収別 | | | | | 母親職業別 | | | | | 世帯主職業別 | | | | |
|-----------------------|---------------|--------------------|-----------------------|------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------|----------------------|-------------------|------------------|----------------|----------------|---------------|----------------------|----------------|---------------|
| | | ～300万円未満 (n=18) | 300～500万円未満 (n=93) | 500～700万円未満 (n=132) | 700～1,000万円未満 (n=134) | 1,000万円以上 (n=66) | 専業主婦 (n=256) | パート・アルバイト (n=153) | フルタイム勤務 (n=19) | 自営・その他 (n=16) | 会社員 (n=337) | 会社役員 (n=23) | 公務員 (n=30) | 医師・会計士・自由業等 (n=6) | 商工自営 (n=28) | その他 (n=20) |
| 家計の収入と支出 | 28.6 | 11.1 | 30.1 | 31.1 | 29.9 | 22.7 | 27.0 | 29.4 | 47.4 | 25.0 | 28.2 | 34.8 | 36.7 | 33.3 | 25.0 | 20.0 |
| 今後の家計の見通し | 11.3 | 5.6 | 8.6 | 15.2 | 11.9 | 6.1 | 10.2 | 13.1 | 10.5 | 12.5 | 8.0 | 26.1 | 33.3 | 0.0 | 10.7 | 20.0 |
| 子育て費用 | 62.2 | 72.2 | 63.4 | 55.3 | 64.9 | 65.2 | 62.5 | 62.1 | 57.9 | 62.5 | 63.2 | 65.2 | 50.0 | 50.0 | 60.7 | 65.0 |
| 子どものこづかいのルール | 73.6 | 55.6 | 71.0 | 77.3 | 71.6 | 80.3 | 72.7 | 75.2 | 68.4 | 81.3 | 73.9 | 60.9 | 73.3 | 100.0 | 78.6 | 70.0 |
| 子どものアルバイトのルール | 8.8 | 11.1 | 10.8 | 9.1 | 6.7 | 9.1 | 9.4 | 6.5 | 10.5 | 18.8 | 7.1 | 17.4 | 10.0 | 0.0 | 25.0 | 5.0 |
| 我が家の納税額・税金の仕組み | 5.0 | 0.0 | 5.4 | 2.3 | 6.7 | 7.6 | 5.1 | 4.6 | 10.5 | 0.0 | 4.5 | 17.4 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| 最近の親の仕事や会社の状況 | 25.2 | 27.8 | 28.0 | 24.2 | 20.1 | 31.8 | 21.5 | 28.8 | 36.8 | 37.5 | 23.4 | 34.8 | 13.3 | 66.7 | 39.3 | 30.0 |
| 企業がお金を儲ける仕組み・ビジネスの仕組み | 10.4 | 5.6 | 6.5 | 8.3 | 12.7 | 16.7 | 8.2 | 13.1 | 15.8 | 12.5 | 7.7 | 30.4 | 23.3 | 33.3 | 7.1 | 10.0 |
| 我が家の資産・預貯金・投資の状況 | 5.4 | 0.0 | 5.4 | 6.8 | 6.0 | 3.0 | 5.9 | 4.6 | 5.3 | 6.3 | 5.0 | 4.3 | 6.7 | 0.0 | 3.6 | 15.0 |
| 家族や家屋に対する保険 | 2.7 | 0.0 | 4.3 | 1.5 | 2.2 | 4.5 | 3.1 | 2.0 | 5.3 | 0.0 | 2.7 | 8.7 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 0.0 |
| 家族の年金・年金制度 | 4.3 | 0.0 | 3.2 | 4.5 | 4.5 | 6.1 | 4.7 | 3.9 | 5.3 | 0.0 | 3.6 | 4.3 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 15.0 |
| お金の貸し借り | 32.0 | 22.2 | 24.7 | 36.4 | 33.6 | 33.3 | 34.0 | 29.4 | 21.1 | 37.5 | 31.8 | 30.4 | 33.3 | 33.3 | 35.7 | 30.0 |
| 日本の景気動向 | 13.7 | 5.6 | 8.6 | 10.6 | 15.7 | 25.8 | 14.5 | 13.1 | 5.3 | 18.8 | 11.6 | 26.1 | 20.0 | 0.0 | 17.9 | 25.0 |
| 日本企業の業績や経営状況 | 4.7 | 0.0 | 2.2 | 3.0 | 5.2 | 12.1 | 5.9 | 3.3 | 5.3 | 0.0 | 4.5 | 13.0 | 3.3 | 0.0 | 7.1 | 0.0 |
| 世界経済の状況 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 6.8 | 7.5 | 9.1 | 7.0 | 3.3 | 0.0 | 12.5 | 5.0 | 8.7 | 16.7 | 0.0 | 3.6 | 0.0 |
| 株式取引の仕組み | 6.1 | 5.6 | 3.2 | 1.5 | 8.2 | 15.2 | 7.0 | 4.6 | 5.3 | 6.3 | 5.6 | 8.7 | 6.7 | 0.0 | 3.6 | 15.0 |
| 株式市場の動向 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 3.7 | 9.1 | 3.1 | 2.0 | 0.0 | 6.3 | 2.4 | 4.3 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| その他 | 3.2 | 5.6 | 3.2 | 3.0 | 3.7 | 1.5 | 2.3 | 3.9 | 0.0 | 12.5 | 3.9 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

時系列変化

➤ 「子育て費用」「親の仕事や会社の状況」を話題にすることは減少傾向。

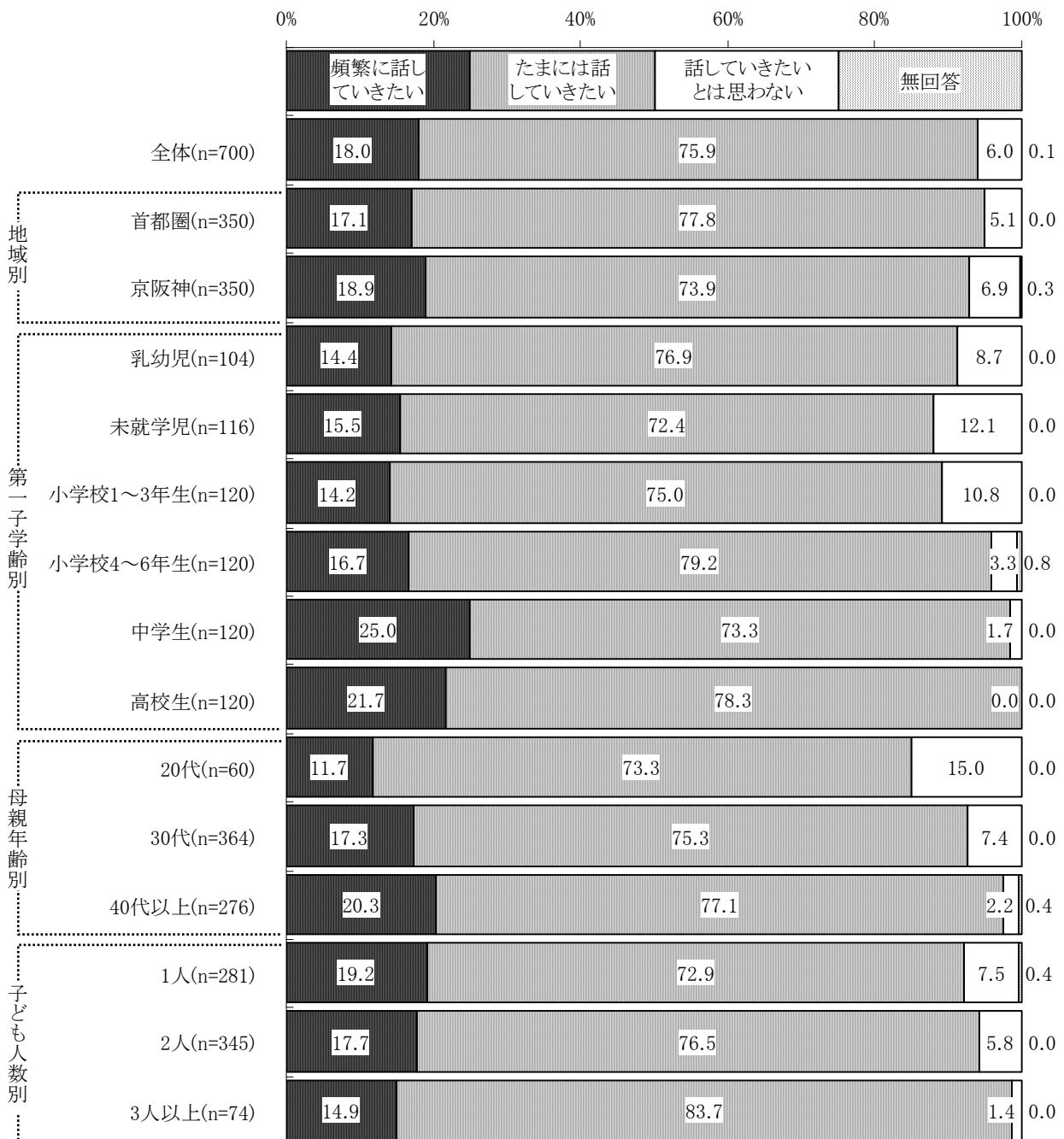
- 時系列で変化をみると「子育て費用」「最近の親の仕事や会社の状況」に関する話題の割合は回を重ねるごとに減少する傾向にある。



3. 今後お金や経済について話していきたい意向

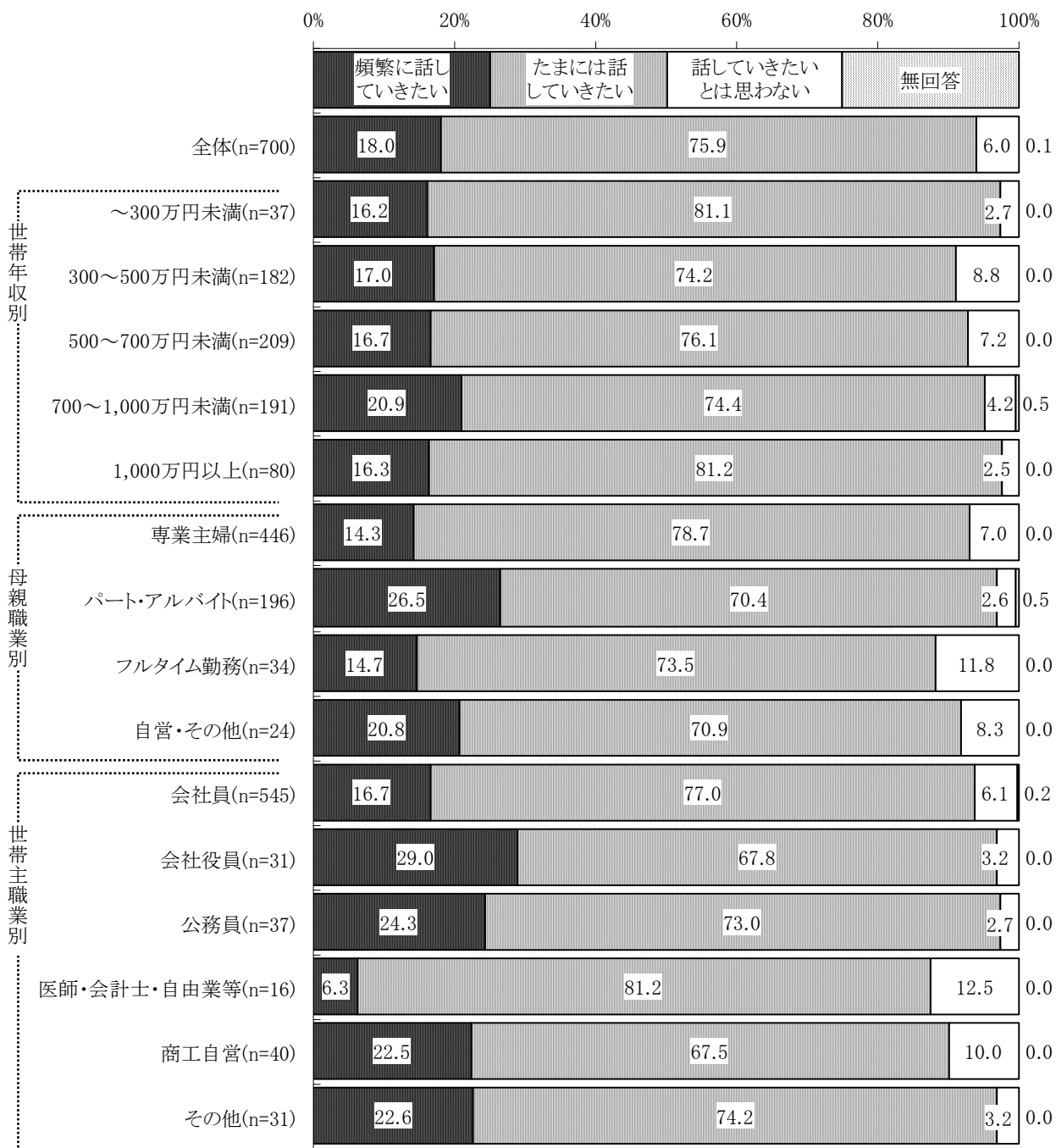
- 今後は話していきたいと考える親が9割以上。
- 特に意向(計)が高いのは「第一子学齢が中学生以上」「母親年齢が高い」「子ども人数が多い」層。

- 今後、お金や経済にかかわる事柄について、子どもと「頻繁に話していきたい」が18.0%、「たまには話していきたい」(75.9%)を合わせると、93.9%となり、大半の人が今後は話していきたいと考えている。
- 第一子学齢別にみると、「頻繁に話していきたい」割合は中学生以上では2割を超える。
- 母親年齢別にみると、年齢が上がるほど、「頻繁に話していきたい」、また「話していきたい(計)」の割合は増加する。
- 子ども人数別にみると、子ども人数が多いほど、「話していきたい(計)」は増加する。



➤ 「母親職業がパート・アルバイト」「世帯主職業が会社役員」で「頻繁に話していきたい」意向が高い。

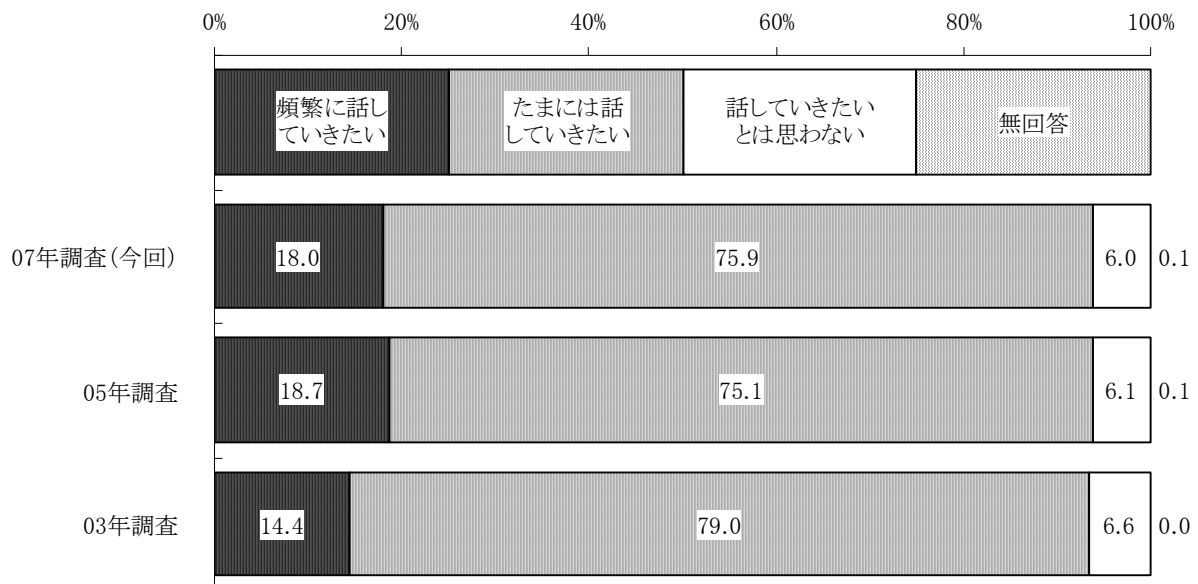
- 母親職業別にみると、「頻繁に話していきたい」の割合が最も高いのはパート・アルバイトの層。
- 世帯主職業別では、「頻繁に話していきたい」が最も高いのは会社役員層の層。



時系列変化

➤ 前回とほぼ同様の結果。

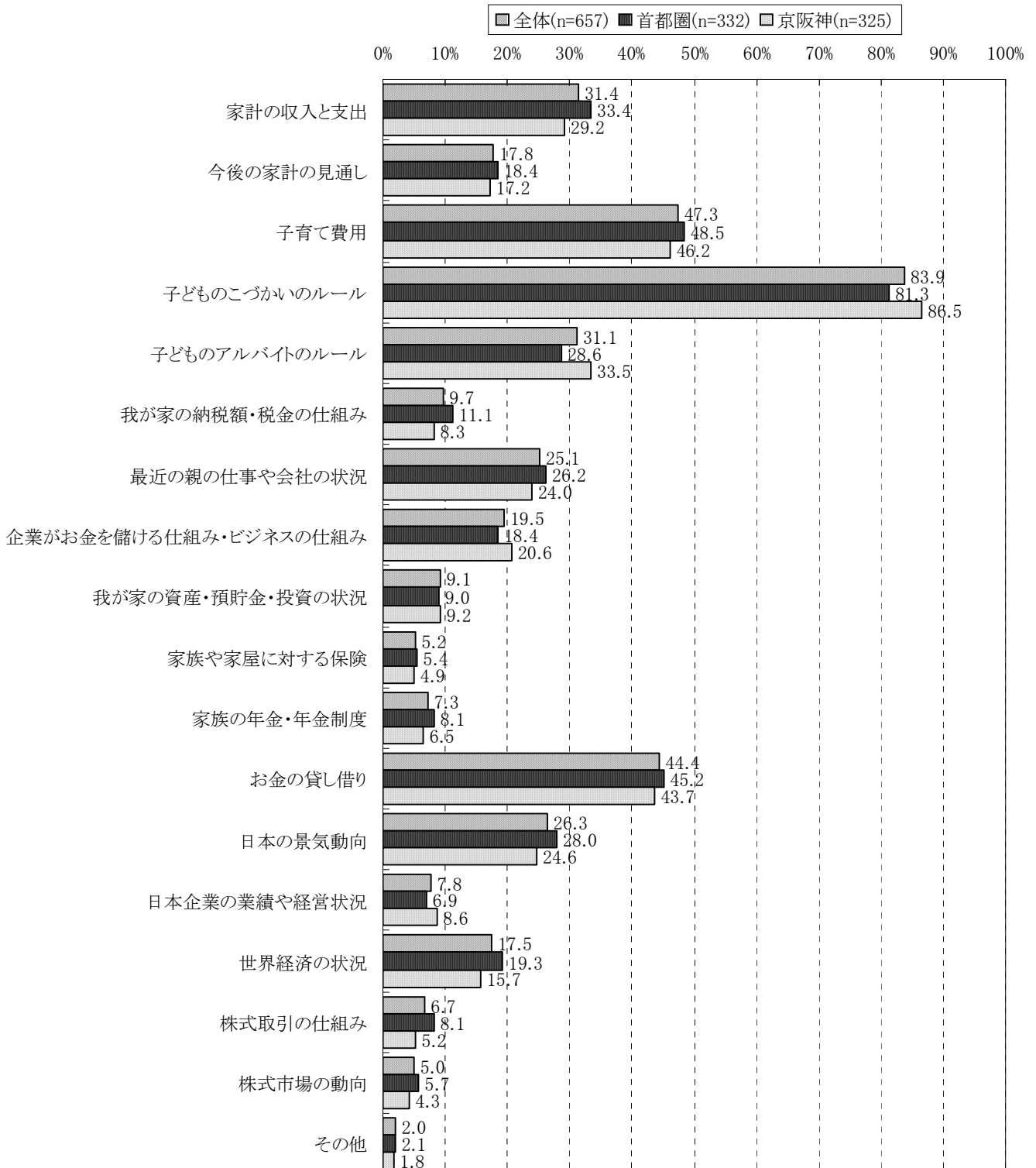
■ 時系列では目立った変化はない。



4. 今後お金や経済について話したい内容

➤ 今後話したい内容は「こづかいのルール」を筆頭に、「子育て費用」「お金の貸し借り」等。

- 今後「話していきたい(頻繁に+たまに)」と回答した人に、その内容を聞くと、「子どものこづかいのルール」(83.9%)がトップ。さらに「子育て費用」「お金の貸し借り」が4割を超える。また「家計の収入と支出」「子どものアルバイトのルール」「最近の親の仕事や会社の状況」「日本の景気動向」といった点が3割前後みられる。



- 「こづかいのルール」は「第一子が乳幼児」「母親年齢が20代」で特に話したい意向が高い。
- 中学生以上では「日本の景気動向」等話したい内容が多岐にわたる。

- 第一子学齢別では、乳幼児には「子どものこづかいのルール」を今後話したいとする割合が特に高い。中学生では「お金の貸し借り」「日本の景気動向」の割合が全体より高い。高校生では「家計の収入と支出」「今後の家計の見通し」「子どものアルバイトのルール」「日本の景気動向」といった点の割合が全体より高い。
- 母親年齢別にみると、「子どものこづかいのルール」は20代の若い層で特に高い。「日本の景気動向」は40代以上で高い。
- 子ども人数別にみると、「家計の収入と支出」「今後の家計の見通し」は3人以上の層で特に高い。

| ※表中の数値は(%) ■ 全体より10pt以上高い数値 ■ 全体より10pt以上低い数値 | 地域別 | | | 第一子学齢別 | | | | | 母親年齢別 | | | 子供人数別 | | | |
|--|---------------|----------------|----------------|---------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------------|---------------|---------------|----------------|
| | 全体 (n=657) | 首都圏 (n=332) | 京阪神 (n=325) | 乳幼児 (n=95) | 未就学 児 (n=102) | 小学校1 ~3年生 (n=107) | 小学校4 ~6年生 (n=115) | 中学生 (n=118) | 高校生 (n=120) | 20代 (n=51) | 30代 (n=337) | 40代以 上 (n=269) | 1人 (n=259) | 2人 (n=325) | 3人以上 (n=73) |
| 家計の収入と支出 | 31.4 | 33.4 | 29.2 | 22.1 | 25.5 | 33.6 | 27.8 | 33.1 | 43.3 | 27.5 | 29.4 | 34.6 | 27.4 | 31.7 | 43.8 |
| 今後の家計の見通し | 17.8 | 18.4 | 17.2 | 7.4 | 12.7 | 11.2 | 16.5 | 22.0 | 33.3 | 5.9 | 14.2 | 24.5 | 15.8 | 16.6 | 30.1 |
| 子育て費用 | 47.3 | 48.5 | 46.2 | 23.2 | 42.2 | 51.4 | 56.5 | 53.4 | 52.5 | 23.5 | 47.5 | 51.7 | 40.2 | 52.6 | 49.3 |
| 子どものこづかいのルール | 83.9 | 81.3 | 86.5 | 96.8 | 92.2 | 91.6 | 89.6 | 72.0 | 65.8 | 98.0 | 90.5 | 72.9 | 83.8 | 83.4 | 86.3 |
| 子どものアルバイトのルール | 31.1 | 28.6 | 33.5 | 34.7 | 14.7 | 14.0 | 31.3 | 35.6 | 52.5 | 33.3 | 24.9 | 38.3 | 27.0 | 32.6 | 38.4 |
| 我が家の納税額・税金の仕組み | 9.7 | 11.1 | 8.3 | 7.4 | 7.8 | 3.7 | 7.0 | 17.8 | 13.3 | 3.9 | 7.1 | 14.1 | 8.1 | 10.5 | 12.3 |
| 最近の親の仕事や会社の状況 | 25.1 | 26.2 | 24.0 | 23.2 | 12.7 | 23.4 | 24.3 | 31.4 | 33.3 | 21.6 | 23.7 | 27.5 | 23.9 | 24.9 | 30.1 |
| 企業がお金を儲ける仕組み・ビジネスの仕組み | 19.5 | 18.4 | 20.6 | 16.8 | 12.7 | 17.8 | 25.2 | 25.4 | 17.5 | 9.8 | 18.4 | 22.7 | 18.5 | 20.9 | 16.4 |
| 我が家の資産・預貯金・投資の状況 | 9.1 | 9.0 | 9.2 | 5.3 | 5.9 | 5.6 | 10.4 | 10.2 | 15.8 | 2.0 | 8.6 | 11.2 | 7.3 | 9.8 | 12.3 |
| 家族や家屋に対する保険 | 5.2 | 5.4 | 4.9 | 4.2 | 0.0 | 5.6 | 4.3 | 7.6 | 8.3 | 2.0 | 3.9 | 7.4 | 3.9 | 6.5 | 4.1 |
| 家族の年金・年金制度 | 7.3 | 8.1 | 6.5 | 1.1 | 2.9 | 1.9 | 8.7 | 11.9 | 15.0 | 2.0 | 3.9 | 12.6 | 5.4 | 8.0 | 11.0 |
| お金の貸し借り | 44.4 | 45.2 | 43.7 | 50.5 | 33.3 | 37.4 | 49.6 | 55.1 | 40.0 | 51.0 | 43.3 | 44.6 | 42.9 | 45.8 | 43.8 |
| 日本の景気動向 | 26.3 | 28.0 | 24.6 | 14.7 | 13.7 | 14.0 | 30.4 | 42.4 | 37.5 | 5.9 | 20.2 | 37.9 | 25.1 | 27.1 | 27.4 |
| 日本企業の業績や経営状況 | 7.8 | 6.9 | 8.6 | 3.2 | 2.0 | 3.7 | 6.1 | 16.1 | 13.3 | 2.0 | 4.7 | 12.6 | 6.9 | 8.9 | 5.5 |
| 世界経済の状況 | 17.5 | 19.3 | 15.7 | 14.7 | 9.8 | 8.4 | 18.3 | 25.4 | 25.8 | 5.9 | 13.1 | 25.3 | 15.8 | 18.8 | 17.8 |
| 株式取引の仕組み | 6.7 | 8.1 | 5.2 | 5.3 | 2.0 | 3.7 | 6.1 | 9.3 | 12.5 | 2.0 | 5.0 | 9.7 | 6.6 | 7.7 | 2.7 |
| 株式市場の動向 | 5.0 | 5.7 | 4.3 | 5.3 | 1.0 | 3.7 | 3.5 | 5.9 | 10.0 | 3.9 | 3.6 | 7.1 | 5.0 | 5.8 | 1.4 |
| その他 | 2.0 | 2.1 | 1.8 | 3.2 | 3.9 | 1.9 | 0.9 | 0.8 | 1.7 | 5.9 | 2.4 | 0.7 | 1.9 | 1.8 | 2.7 |

➤ 高年収層や会社役員層では、今後話していきたいと思う分野が幅広い。

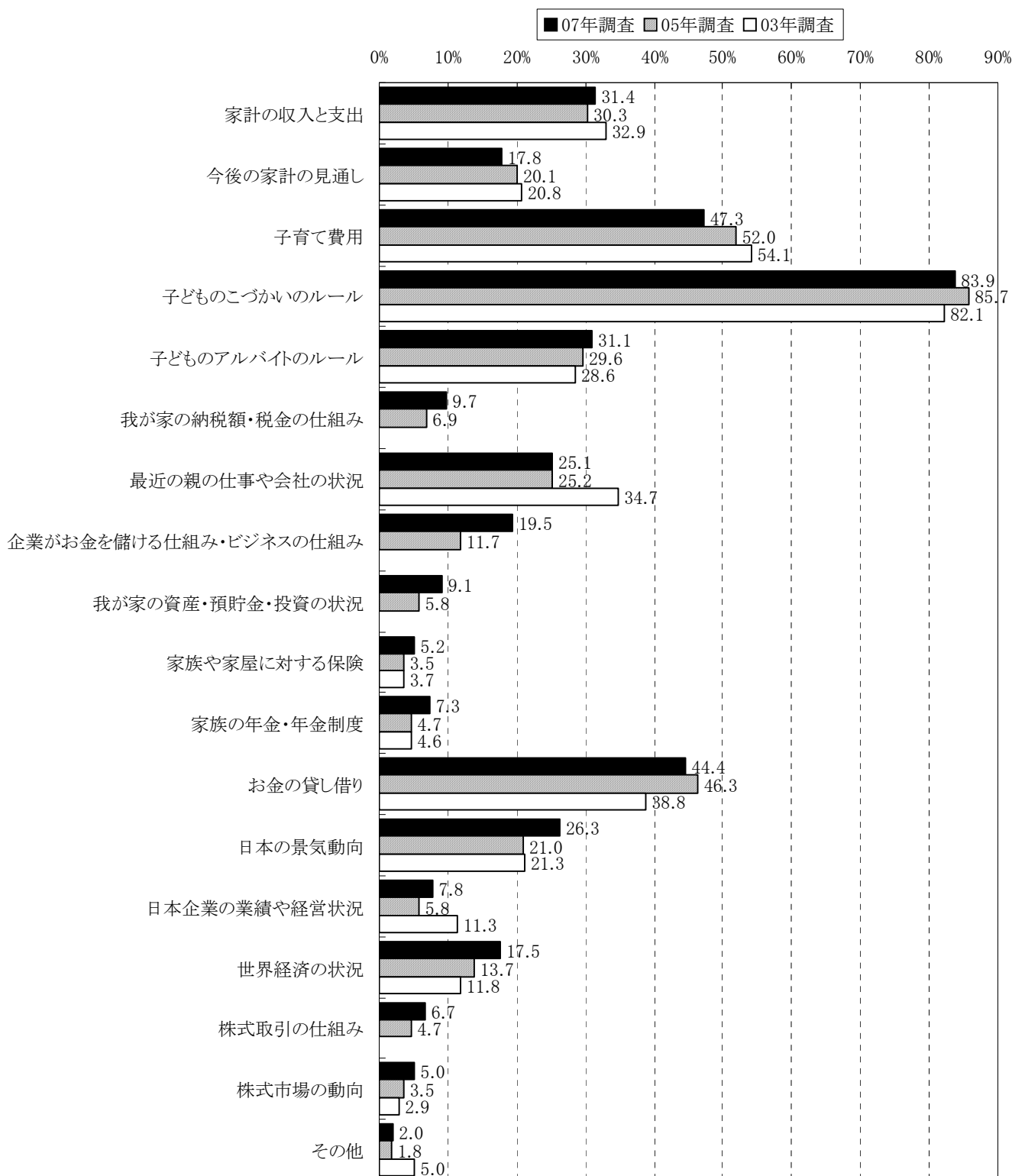
- 世帯年収別にみると、1,000万円以上の層では「日本の景気動向」「日本企業の業績や経営状況」「世界経済の状況」「株式市場の動向」と多くの点で全体よりスコアが高く、幅広い分野で今後話していきたいと考えている傾向がある。
- 母親職業別ではフルタイム勤務で、「家計の収入と支出」のスコアが全体より高い。
- 世帯主職業別にみると、会社役員では「今後の家計の見通し」「我が家の納税額・税金の仕組み」「最近の親の仕事や会社の状況」「企業がお金を儲ける仕組み・ビジネスの仕組み」「家族や家屋に対する保険」「お金の貸し借り」「日本の景気動向」「日本企業の業績や経営状況」「世界経済の状況」と多くの点でのスコアが高く、幅広い分野で今後話していきたいと考えている傾向がある。

| ※表中の数値は(%) ■ 全体より10pt以上高い数値 ■ 全体より10pt以下低い数値 | 全体 (n=657) | 世帯年収別 | | | | | 母親職業別 | | | | 世帯主職業別 | | | | | |
|--|---------------|--------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------|----------------------|-------------------|------------------|----------------|----------------|---------------|-----------------------|----------------|---------------|
| | | ～300万円未満 (n=36) | 300～500万円未満 (n=166) | 500～700万円未満 (n=194) | 700～1,000万円未満 (n=182) | 1,000万円以上 (n=78) | 専業主婦 (n=415) | パート・アルバイト (n=190) | フルタイム勤務 (n=30) | 自営・その他 (n=22) | 会社員 (n=511) | 会社役員 (n=30) | 公務員 (n=36) | 医師・会計士・自由業等 (n=14) | 商工自営 (n=36) | その他 (n=30) |
| 家計の収入と支出 | 31.4 | 38.9 | 29.5 | 29.9 | 30.2 | 37.2 | 28.4 | 36.3 | 43.3 | 27.3 | 30.7 | 40.0 | 38.9 | 28.6 | 19.4 | 40.0 |
| 今後の家計の見通し | 17.8 | 19.4 | 11.4 | 19.6 | 20.9 | 19.2 | 17.3 | 20.0 | 20.0 | 4.5 | 17.2 | 40.0 | 22.2 | 0.0 | 16.7 | 10.0 |
| 子育て費用 | 47.3 | 38.9 | 48.2 | 41.2 | 52.7 | 51.3 | 47.0 | 48.9 | 50.0 | 36.4 | 48.3 | 46.7 | 36.1 | 35.7 | 52.8 | 43.3 |
| 子どものこづかいのルール | 83.9 | 94.4 | 87.3 | 84.5 | 80.2 | 78.2 | 85.5 | 81.1 | 76.7 | 86.4 | 85.9 | 66.7 | 75.0 | 92.9 | 80.6 | 76.7 |
| 子どものアルバイトのルール | 31.1 | 27.8 | 33.1 | 29.9 | 27.5 | 39.7 | 28.7 | 35.8 | 36.7 | 27.3 | 30.1 | 33.3 | 33.3 | 35.7 | 36.1 | 33.3 |
| 我が家の納税額・税金の仕組み | 9.7 | 2.8 | 6.0 | 8.8 | 12.1 | 17.9 | 9.4 | 10.0 | 13.3 | 9.1 | 9.6 | 23.3 | 5.6 | 7.1 | 5.6 | 10.0 |
| 最近の親の仕事や会社の状況 | 25.1 | 22.2 | 28.3 | 23.2 | 20.3 | 34.6 | 21.2 | 33.7 | 20.0 | 31.8 | 23.1 | 43.3 | 19.4 | 35.7 | 36.1 | 30.0 |
| 企業がお金を儲ける仕組み・ビジネスの仕組み | 19.5 | 8.3 | 13.9 | 20.6 | 23.1 | 25.6 | 20.2 | 20.0 | 16.7 | 4.5 | 18.4 | 33.3 | 16.7 | 42.9 | 16.7 | 20.0 |
| 我が家の資産・預貯金・投資の状況 | 9.1 | 5.6 | 9.0 | 6.2 | 10.4 | 15.4 | 9.6 | 7.4 | 16.7 | 4.5 | 7.6 | 13.3 | 13.9 | 0.0 | 11.1 | 26.7 |
| 家族や家屋に対する保険 | 5.2 | 0.0 | 6.0 | 4.6 | 3.3 | 11.5 | 5.1 | 5.8 | 3.3 | 4.5 | 5.1 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 家族の年金・年金制度 | 7.3 | 0.0 | 6.0 | 5.7 | 9.9 | 11.5 | 7.2 | 8.9 | 3.3 | 0.0 | 6.1 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 8.3 | 10.0 |
| お金の貸し借り | 44.4 | 36.1 | 41.6 | 50.0 | 40.7 | 50.0 | 45.1 | 43.2 | 43.3 | 45.5 | 44.2 | 56.7 | 38.9 | 57.1 | 41.7 | 40.0 |
| 日本の景気動向 | 26.3 | 8.3 | 16.3 | 23.2 | 35.2 | 43.6 | 28.0 | 25.8 | 13.3 | 18.2 | 25.2 | 40.0 | 36.1 | 21.4 | 27.8 | 20.0 |
| 日本企業の業績や経営状況 | 7.8 | 0.0 | 4.8 | 6.7 | 7.7 | 20.5 | 6.5 | 11.6 | 6.7 | 0.0 | 6.8 | 20.0 | 11.1 | 0.0 | 8.3 | 10.0 |
| 世界経済の状況 | 17.5 | 5.6 | 9.0 | 16.5 | 21.4 | 34.6 | 18.3 | 17.4 | 10.0 | 13.6 | 16.2 | 30.0 | 33.3 | 7.1 | 16.7 | 13.3 |
| 株式取引の仕組み | 6.7 | 0.0 | 3.6 | 4.6 | 9.3 | 15.4 | 6.0 | 8.9 | 6.7 | 0.0 | 6.7 | 10.0 | 5.6 | 0.0 | 8.3 | 6.7 |
| 株式市場の動向 | 5.0 | 0.0 | 2.4 | 3.6 | 4.9 | 16.7 | 5.1 | 5.3 | 3.3 | 4.5 | 4.5 | 6.7 | 8.3 | 7.1 | 2.8 | 10.0 |
| その他 | 2.0 | 2.8 | 1.2 | 1.5 | 2.7 | 2.6 | 1.7 | 2.6 | 3.3 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 |

時系列変化

- 「アルバイトのルール」「景気動向」「ビジネスの仕組み」「世界経済の状況」は増加傾向。
- 「子育て費用」「家計の見通し」は減少傾向。

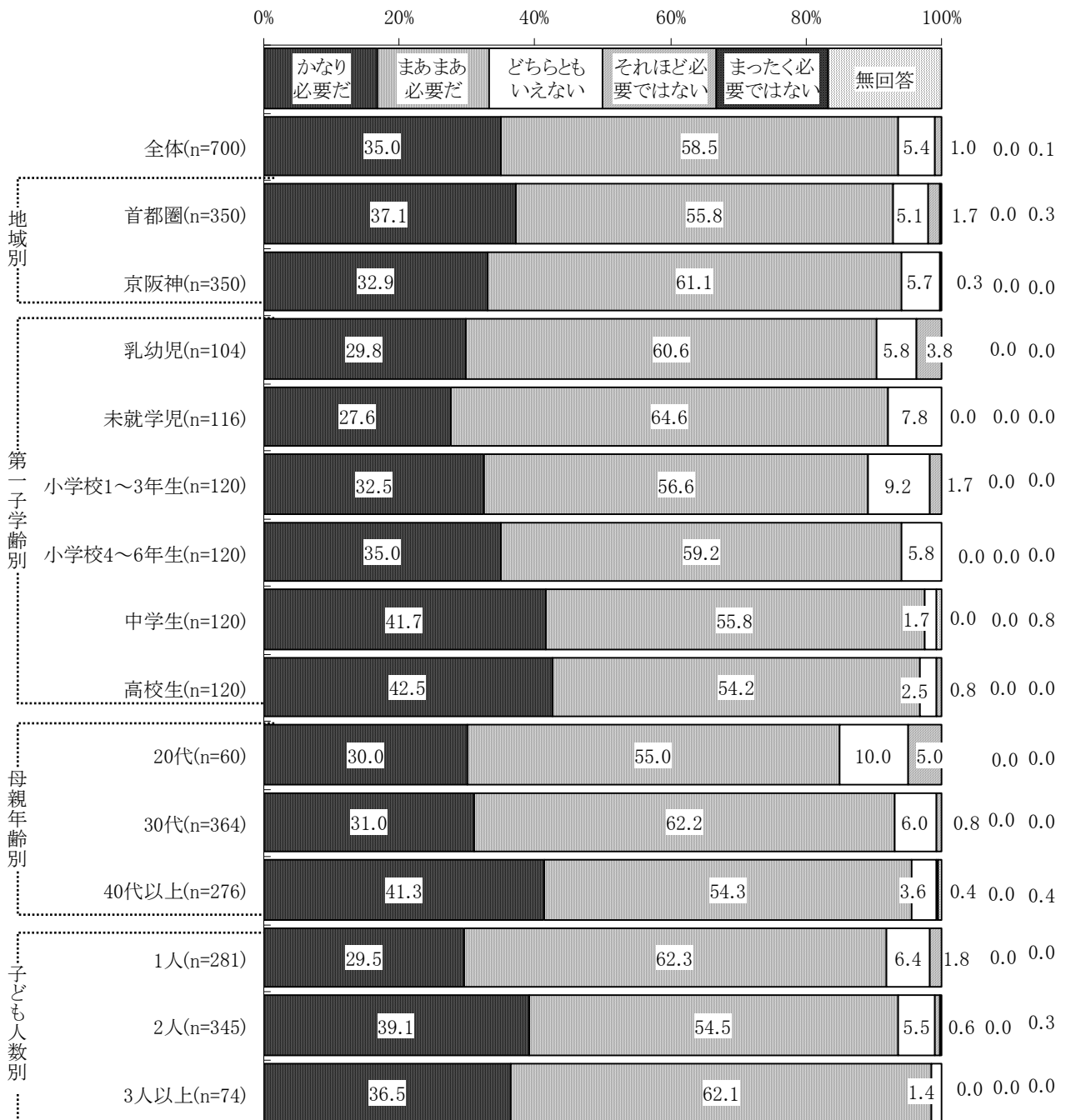
- 時系列での変化をみると、「子どものアルバイトのルール」「日本の景気動向」「企業がお金を儲ける仕組み・ビジネスの仕組み」「世界経済の状況」等の内容は回を重ねるごとに「話していきたい」割合が増加。
- 一方で「子育て費用」「今後の家計の見通し」等の点は年々減少の傾向にある。



5. 家庭内経済教育の必要性

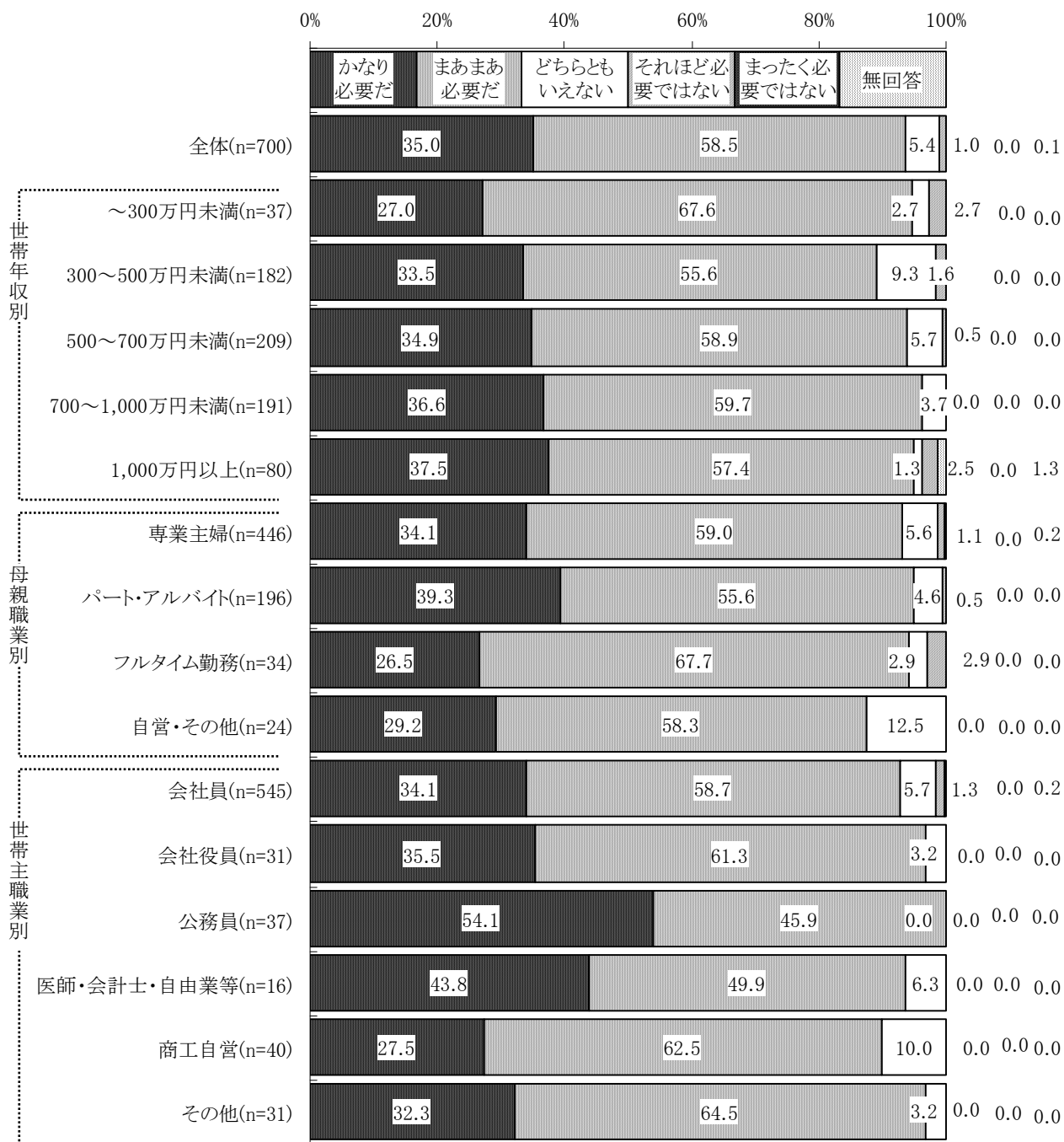
> 9割以上が必要だと考えている。
 > 「第一子学齢が高くなるほど」「母親年齢が高くなるほど」必要と考える人は増える。

- 将来のために子どもにお金や経済の知識が「かなり必要だ」と考える人は35.0%。「まあまあ必要だ」(58.5%)を合わせると9割以上が必要だと考えている。
- 第一子学齢別にみると、未就学児以降、学齢が高くなるほど「かなり必要だ」の割合が増加する傾向。
- 母親年齢別では、年齢が高くなるほど「必要(計)」の割合は高い。



➤ 「母親職業がパート・アルバイト」「世帯主職業が公務員」の層で「かなり必要」の割合が高い。

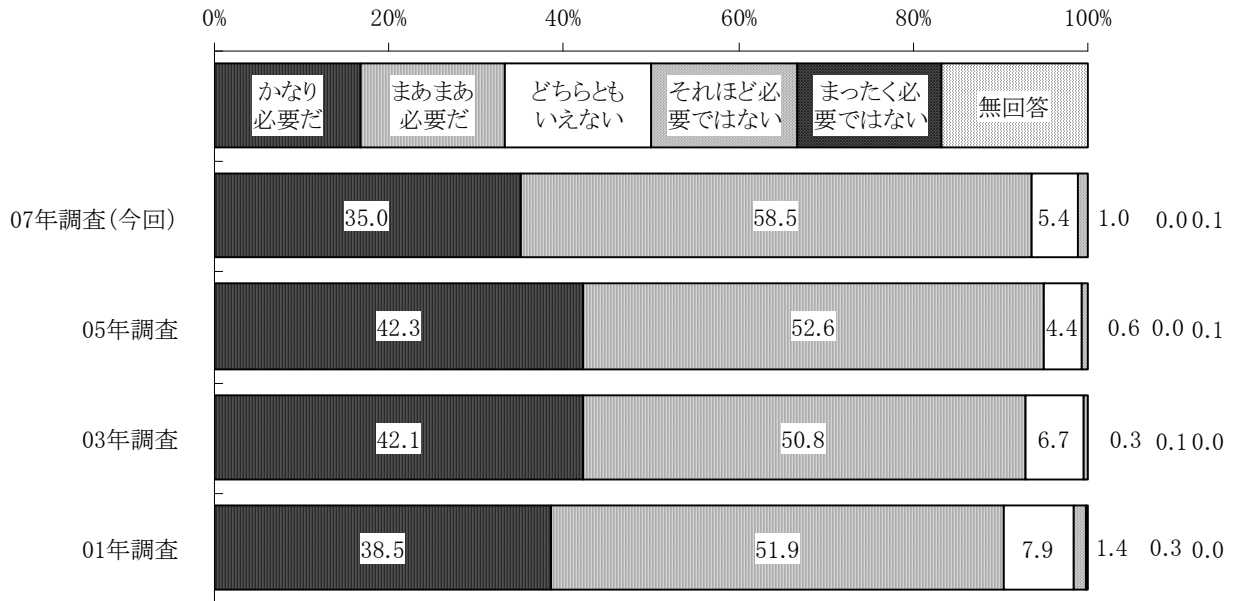
- 母親職業別にみると、「かなり必要だ」の割合が最も高いのはパート・アルバイトの層。
- 世帯主職業別にみると、「かなり必要だ」が最も高いのは公務員の層。



時系列変化

➤ 「かなり必要だ」割合は前回から減少。

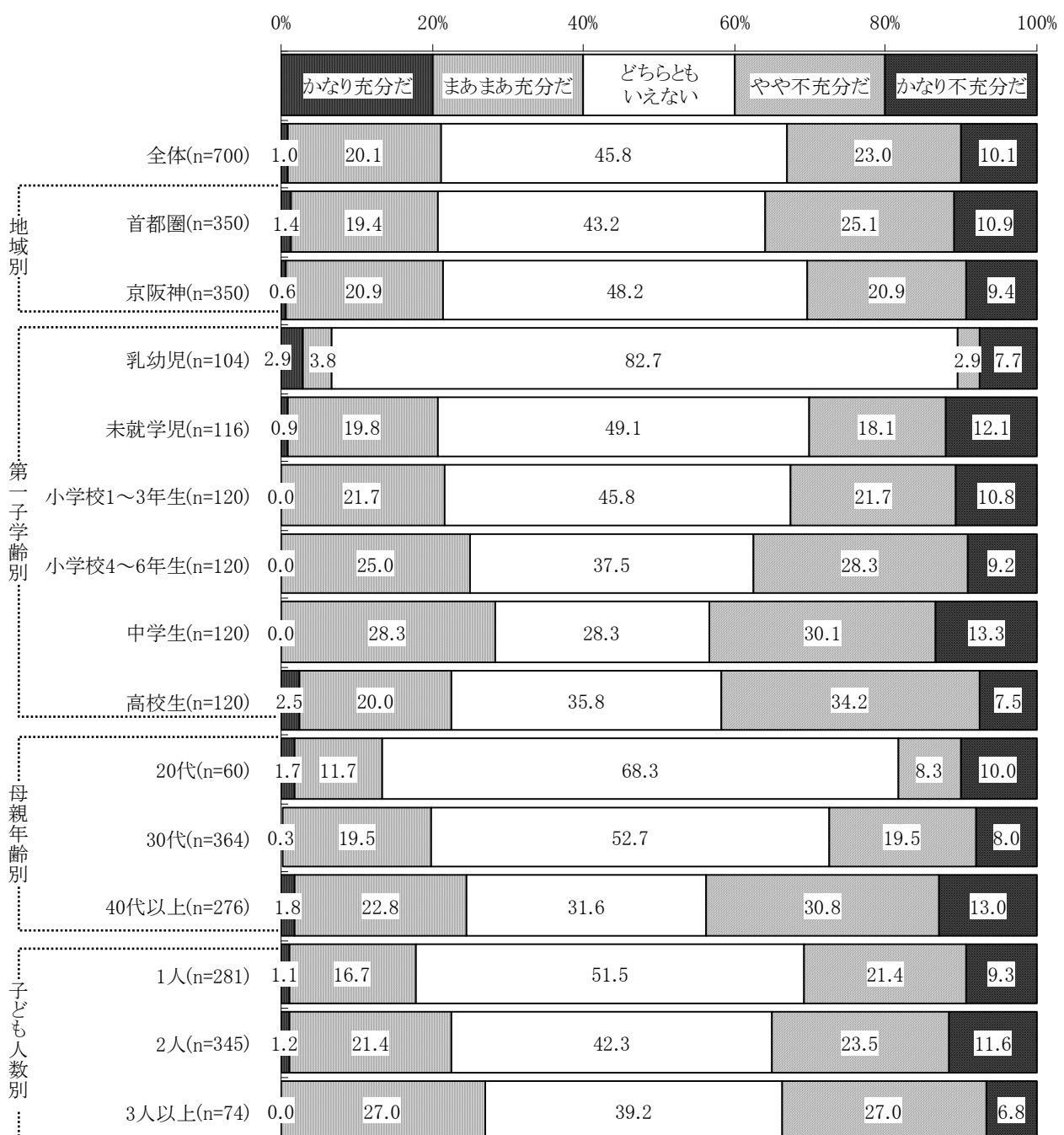
- 時系列でみると、「必要(計)」の割合にほとんど変化はないが、「かなり必要だ」のスコアは前回に比べてやや減少している。



6. 家庭内経済教育の充分度

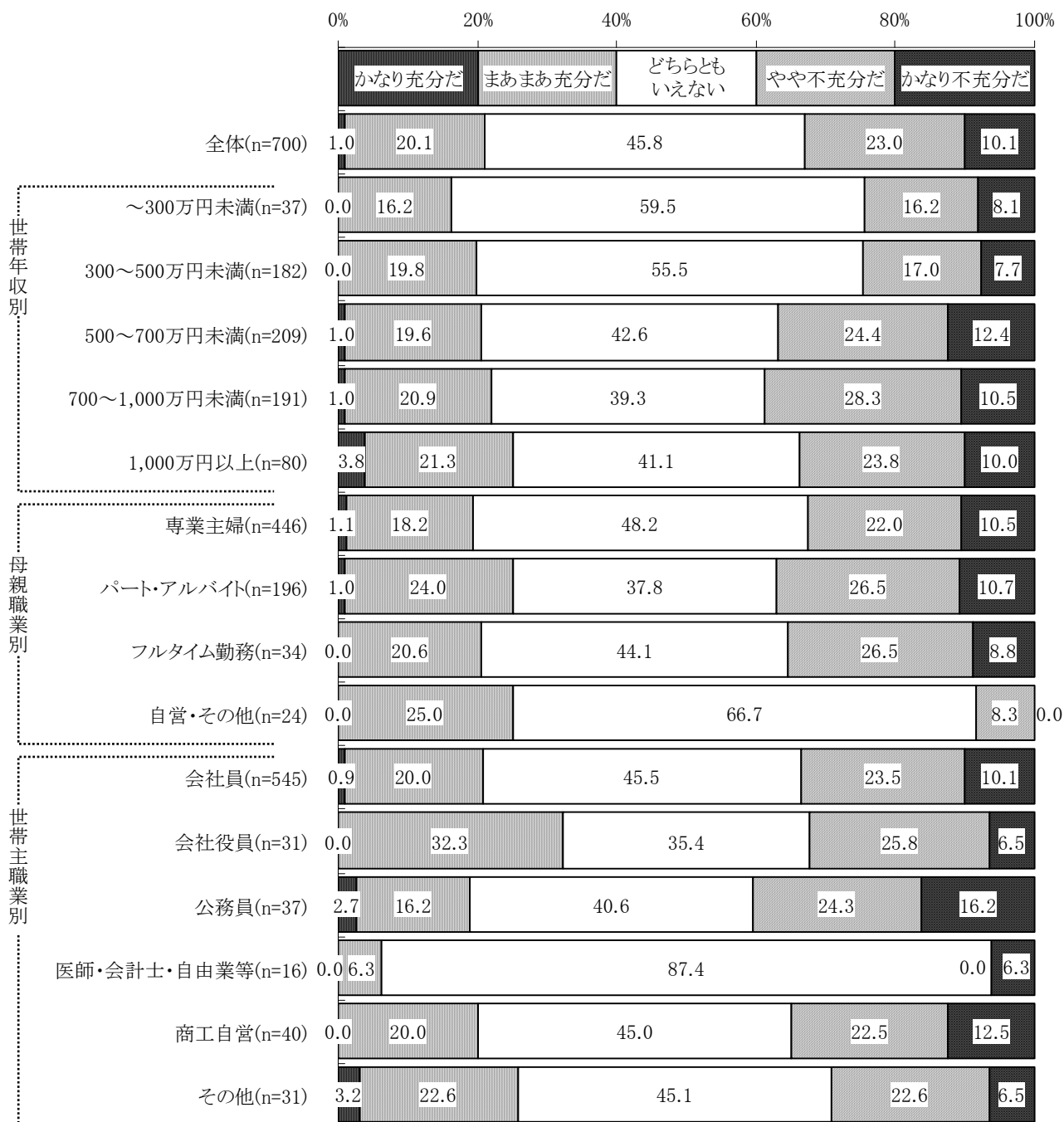
- 「充分」は2割、「不充分」は3割。
- 「第一子学齢が高い」「母親年齢が高い」層で特に「不充分」の割合は高い。

- 子どもと経済の話をする事については、「かなり充分だ」は1.0%に過ぎず、「まあまあ充分だ」(20.1%)を合わせても、21.1%。「どちらともいえない」が半数近い。「不充分だ(計)」は3割を超え、「充分だ(計)」よりも10ポイント以上高い。
- 第一子学齢別にみると、中学生・高校生では「不充分だ(計)」が4割を超えて高い。
- 母親年齢別では、年齢が上がるほど「充分だ(計)」の割合は高くなるが、それ以上に「不充分だ(計)」も高くなる。
- 子ども人数別では、子ども人数が多いほど「充分だ(計)」の割合は高い。



➤ 年収 500 万円以上の層は「不十分」感が強い。

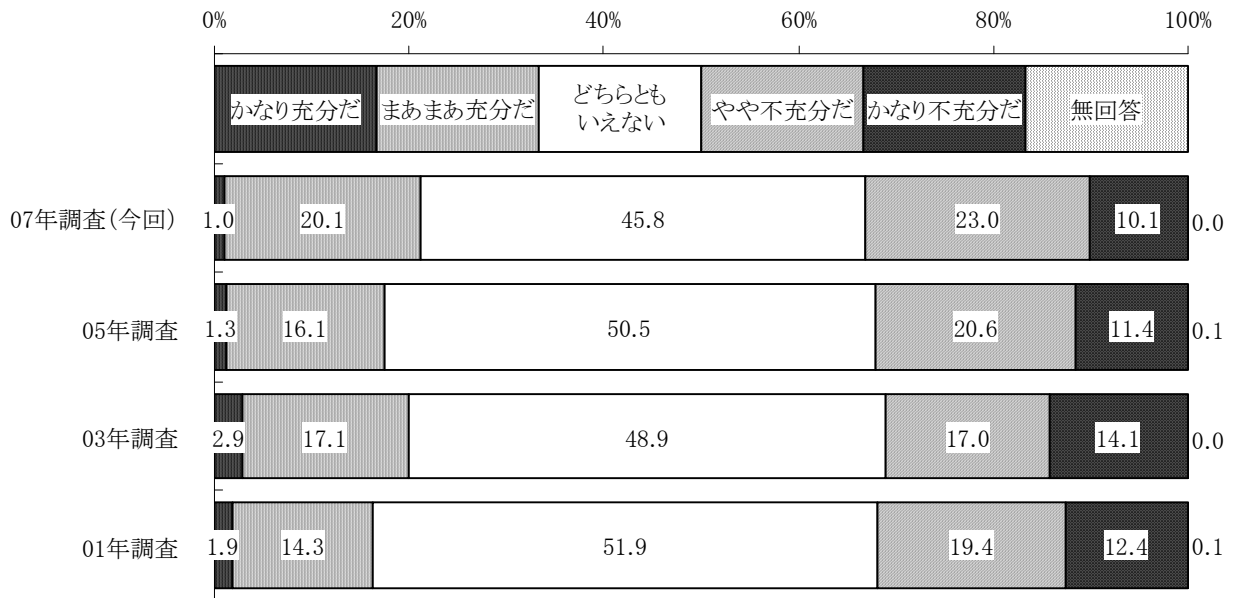
- 世帯年収別にみると、500 万円未満の層に比べ、500 万円以上の層では「不十分だ(計)」が高い。
- 世帯主職業別では、会社役員では他の層に比べて「充分だ(計)」の割合が高い。



時系列変化

➤ 時系列での変化はほとんどない。

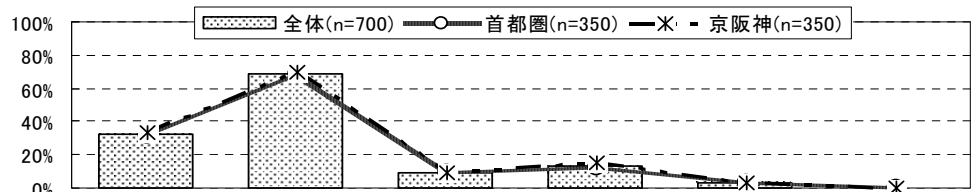
■ 時系列では、特に目立った変化はないと言える。



7. 家庭内経済教育の考え方

- 「家庭での学習で経済センスをみがくことが重要」に7割同意。
- 「母親年齢が若い」「低年収層」では「自然と覚えていけるもの」とする割合が高いことが特徴。

- 子どもとお金や経済の話をするについての考えでは、「家庭での学習機会をつくり、日常生活の中で経済センスをみがくことが大切だ」が69.0%とほぼ7割。次いで多いのは「まず学校教育の中で充実させていくことが重要だ」(32.4%)。
- 母親年齢別にみると、20代の若い層では「自然と覚えていけるもので、改めて教える必要はない」の割合が全体より高く、「家庭での学習機会をつくり、日常生活の中で経済センスをみがくことが大切だ」のスコアが他年代に比べて低い。
- 世帯年収別では、～300万円未満の低年収層で「自然と覚えていけるもので、改めて教える必要はない」の割合が全体より高い。
- 世帯主職業別では「家庭での学習機会をつくり、日常生活の中で経済センスをみがくことが大切だ」は公務員で特に高い。

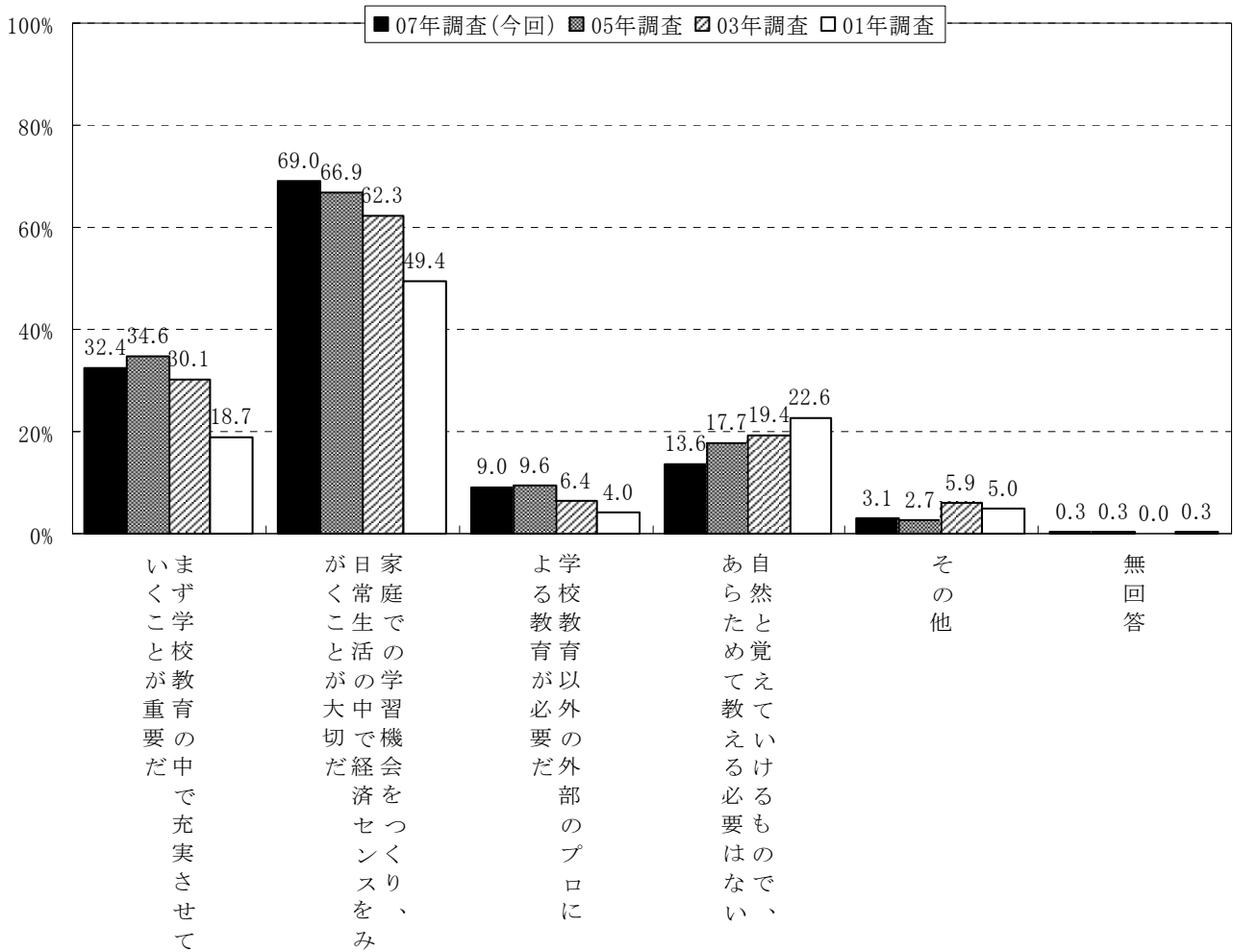


| ※表中の数値は(%) | | まず学校教育の中で充実させていくことが重要だ | 家庭での学習機会をつくり、日常生活の中で経済センスをみがくことが大切だ | 学校教育以外の外部のプロによる教育が必要だ | 自然と覚えていけるもので、あらためて教える必要はない | その他 | 無回答 |
|------------|----------------------|------------------------|-------------------------------------|-----------------------|----------------------------|------|-----|
| 全体(n=700) | | 32.4 | 69.0 | 9.0 | 13.6 | 3.1 | 0.3 |
| 地域別 | 首都圏(n=350) | 31.4 | 68.3 | 9.1 | 12.3 | 2.9 | 0.3 |
| | 京阪神(n=350) | 33.4 | 69.7 | 8.9 | 14.9 | 3.4 | 0.3 |
| 第一子学齢別 | 乳幼児(n=104) | 32.7 | 65.4 | 1.9 | 16.3 | 4.8 | 0.0 |
| | 未就学児(n=116) | 26.7 | 61.2 | 11.2 | 19.0 | 6.9 | 1.7 |
| | 小学校1～3年生(n=120) | 36.7 | 65.8 | 9.2 | 11.7 | 1.7 | 0.0 |
| | 小学校4～6年生(n=120) | 34.2 | 71.7 | 10.0 | 8.3 | 1.7 | 0.0 |
| | 中学生(n=120) | 27.5 | 74.2 | 10.0 | 16.7 | 1.7 | 0.0 |
| | 高校生(n=120) | 36.7 | 75.0 | 10.8 | 10.0 | 2.5 | 0.0 |
| 母親年齢別 | 20代(n=60) | 31.7 | 56.7 | 0.0 | 26.7 | 5.0 | 0.0 |
| | 30代(n=364) | 31.6 | 66.8 | 8.5 | 12.4 | 3.6 | 0.5 |
| | 40代以上(n=276) | 33.7 | 74.6 | 11.6 | 12.3 | 2.2 | 0.0 |
| 子供人数別 | 1人(n=281) | 30.2 | 66.5 | 6.4 | 14.2 | 3.9 | 0.4 |
| | 2人(n=345) | 34.8 | 70.1 | 11.6 | 12.2 | 3.2 | 0.3 |
| | 3人以上(n=74) | 29.7 | 73.0 | 6.8 | 17.6 | 0.0 | 0.0 |
| 世帯年収別 | ～300万円未満(n=37) | 35.1 | 62.2 | 2.7 | 27.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 300～500万円未満(n=182) | 37.4 | 61.5 | 4.4 | 14.3 | 3.3 | 0.5 |
| | 500～700万円未満(n=209) | 33.0 | 69.4 | 12.0 | 12.9 | 2.9 | 0.5 |
| | 700～1,000万円未満(n=191) | 27.7 | 73.8 | 11.5 | 12.6 | 4.2 | 0.0 |
| | 1,000万円以上(n=80) | 30.0 | 76.3 | 8.8 | 10.0 | 2.5 | 0.0 |
| 母親職業別 | 専業主婦(n=446) | 31.2 | 67.3 | 9.0 | 13.9 | 4.0 | 0.2 |
| | パート・アルバイト(n=196) | 37.8 | 71.9 | 9.7 | 12.8 | 1.5 | 0.5 |
| | フルタイム勤務(n=34) | 23.5 | 79.4 | 2.9 | 8.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 自営・その他(n=24) | 25.0 | 62.5 | 12.5 | 20.8 | 4.2 | 0.0 |
| 世帯主職業別 | 会社員(n=545) | 32.5 | 68.1 | 9.7 | 12.5 | 2.9 | 0.4 |
| | 会社役員(n=31) | 22.6 | 71.0 | 9.7 | 16.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 公務員(n=37) | 29.7 | 83.8 | 13.5 | 16.2 | 0.0 | 0.0 |
| | 医師・会計士・自由業等(n=16) | 18.8 | 62.5 | 0.0 | 25.0 | 12.5 | 0.0 |
| | 商工自営(n=40) | 45.0 | 60.0 | 0.0 | 20.0 | 7.5 | 0.0 |
| | その他(n=31) | 35.5 | 80.6 | 6.5 | 12.9 | 3.2 | 0.0 |

時系列変化

➤ 「家庭での学習で経済センスをみがくことが重要」は増加、「自然と覚えていけるもの」は減少。

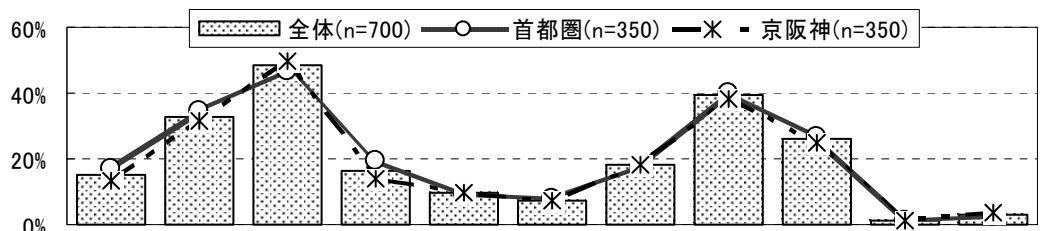
- 時系列での変化をみると、「家庭での学習機会をつくり、日常生活の中で経済センスをみがくことが大切だ」の割合は回を追うごとに増加の傾向。
- 一方「自然と覚えていけるもので、あらためて教える必要はない」は減少の傾向にある。



8. 経済教育に必要な支援

- 「参加型セミナーやイベント」への要望が強く、他に「テレビ番組を通じた情報提供」も。
- 第一子が未就学児以下では「親子参加セミナー」、中学生では「テレビ番組」、高校生では「インターネットを通じた情報提供」の要望が高い。

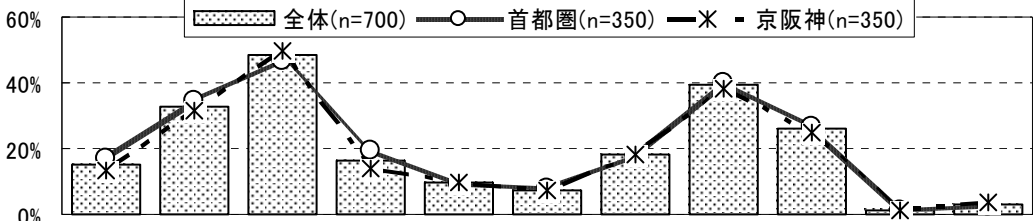
- 子どもとお金や経済の話をする際に、あればよいと思う『支援』について聞くと、「親子で参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」(48.4%)がトップ、次いで「テレビ番組を通じた情報提供」(39.1%)、「子どもだけで参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」(33.0%)が続く。
- 第一子学齢別では、未就学以下の小さな子ども親は「親子で参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」の割合が特に高い。中学生では「テレビ番組を通じた情報提供」の割合が全体より高く、高校生では「インターネットを通じた情報提供」が高い。



| ※表中の数値は(%) | | ナ親 ーが や 参加 できる イ ベ ン ト | ナ る 子 ー 学 ど も イ 教 育 に 関 与 する イ ベ ン ト | イ 教 育 に 関 与 する イ ベ ン ト に あ ら わ ない イ ベ ン ト | ス わ か り や す い 本 や テ キ | 教 材 に あ ら わ ない イ ベ ン ト | ジ ュ ア オ ル を D V 実 さ せ た ビ | ソ フ ト ウ ェ ア に あ ら わ ない イ ベ ン ト | た い ん て ね ー と を 通 じ た 情 報 提 供 | 報 テ レ ビ 番 組 を 通 じ た 情 報 提 供 | ラ ム 学 校 で の 専 門 カ リ キュ ル | そ の 他 | 無 回 答 |
|------------|-----------------|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|-------------|-------------|
| 全体(n=700) | | 15.1 | 33.0 | 48.4 | 16.4 | 9.6 | 7.4 | 18.0 | 39.1 | 25.9 | 1.4 | 3.1 | |
| 地域別 | 首都圏(n=350) | 17.1 | 34.6 | 46.9 | 19.1 | 9.1 | 7.7 | 17.7 | 40.3 | 26.9 | 1.4 | 2.6 | |
| | 京阪神(n=350) | 13.1 | 31.4 | 50.0 | 13.7 | 10.0 | 7.1 | 18.3 | 38.0 | 24.9 | 1.4 | 3.7 | |
| | 第一子学齢別 | 乳幼児(n=104) | 23.1 | 22.1 | 67.3 | 13.5 | 7.7 | 3.8 | 11.5 | 26.9 | 15.4 | 1.0 | 3.8 |
| | 未就学児(n=116) | 21.6 | 37.9 | 60.3 | 22.4 | 14.7 | 9.5 | 12.1 | 31.9 | 18.1 | 2.6 | 5.2 | |
| | 小学校1～3年生(n=120) | 11.7 | 38.3 | 50.0 | 15.0 | 12.5 | 6.7 | 14.2 | 37.5 | 25.0 | 0.0 | 3.3 | |
| | 小学校4～6年生(n=120) | 14.2 | 36.7 | 49.2 | 14.2 | 12.5 | 10.8 | 15.0 | 41.7 | 26.7 | 2.5 | 4.2 | |
| | 中学生(n=120) | 10.8 | 36.7 | 39.2 | 18.3 | 5.0 | 4.2 | 24.2 | 49.2 | 35.8 | 1.7 | 0.0 | |
| | 高校生(n=120) | 10.8 | 25.0 | 27.5 | 15.0 | 5.0 | 9.2 | 30.0 | 45.8 | 32.5 | 0.8 | 2.5 | |
| 母親年齢別 | 20代(n=60) | 16.7 | 21.7 | 48.3 | 11.7 | 13.3 | 3.3 | 11.7 | 26.7 | 8.3 | 0.0 | 8.3 | |
| | 30代(n=364) | 16.2 | 34.1 | 56.0 | 16.5 | 11.5 | 8.5 | 15.4 | 36.8 | 23.4 | 1.9 | 2.2 | |
| | 40代以上(n=276) | 13.4 | 34.1 | 38.4 | 17.4 | 6.2 | 6.9 | 22.8 | 44.9 | 33.0 | 1.1 | 3.3 | |
| 子供人数別 | 1人(n=281) | 18.9 | 34.9 | 56.2 | 18.9 | 9.6 | 8.2 | 15.7 | 31.7 | 22.1 | 1.8 | 2.8 | |
| | 2人(n=345) | 13.3 | 33.0 | 43.2 | 15.1 | 9.9 | 6.7 | 19.7 | 44.6 | 27.8 | 1.2 | 2.3 | |
| | 3人以上(n=74) | 9.5 | 25.7 | 43.2 | 13.5 | 8.1 | 8.1 | 18.9 | 41.9 | 31.1 | 1.4 | 8.1 | |

- 低年収層は「子どもだけ参加セミナーやイベント」への要望が強い。
- 世帯主が会社役員の層は「インターネットを通じた情報提供」の要望が強い。

- 世帯年収別にみると、～300万円未満の低年収層では「子どもだけで参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」の割合が他層に比べて高い。
- 世帯主職業別にみると、会社役員の層は「インターネットを通じた情報提供」の割合が全体よりも高い。



※表中の数値は(%)

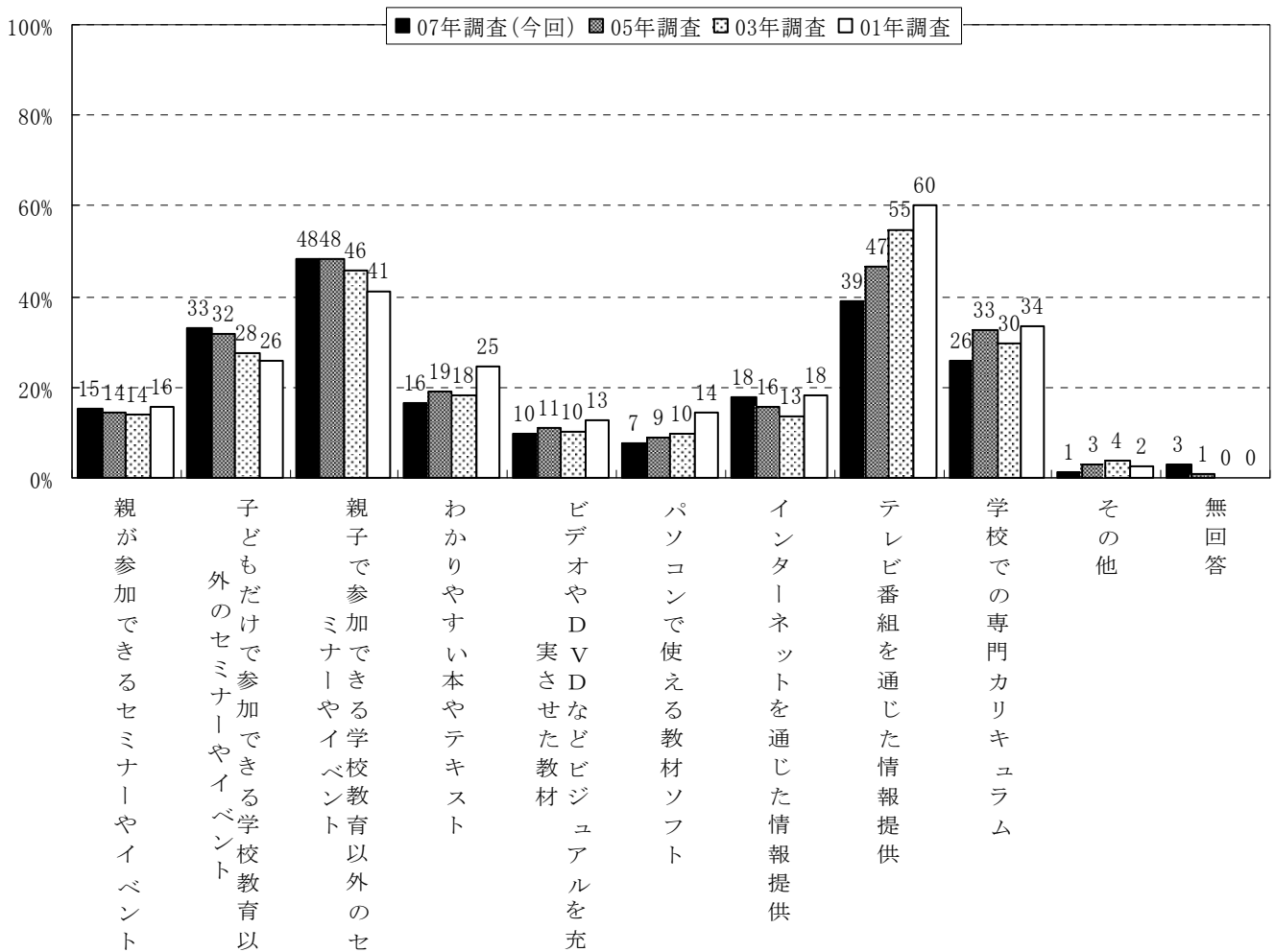
■ 全体より10pt以上高い数値
■ 全体より10pt以上低い数値

| | | 親が参加できるセミナー | 子どもだけで参加できる学校教育以外のセミナー | 親子で参加できる学校やイベント | わかりやすい本やテキスト | 教材 | ビデオやDVDなどを使った教材 | パソコンで使える教材 | インターネットを通じた情報提供 | テレビ番組を通じた情報提供 | 学校での専門カリキュラム | その他 | 無回答 |
|-----------|----------------------|-------------|------------------------|-----------------|--------------|------|-----------------|-------------|-----------------|---------------|--------------|------|-----|
| 全体(n=700) | | 15.1 | 33.0 | 48.4 | 16.4 | 9.6 | 7.4 | 18.0 | 39.1 | 25.9 | 1.4 | 3.1 | |
| 世帯年収別 | ～300万円未満(n=37) | 8.1 | 43.2 | 54.1 | 5.4 | 10.8 | 8.1 | 16.2 | 32.4 | 8.1 | 0.0 | 5.4 | |
| | 300～500万円未満(n=182) | 19.8 | 28.0 | 49.5 | 10.4 | 6.0 | 4.9 | 15.9 | 37.4 | 23.1 | 1.1 | 3.8 | |
| | 500～700万円未満(n=209) | 12.9 | 32.1 | 48.8 | 21.1 | 11.5 | 7.7 | 18.7 | 39.2 | 27.3 | 1.4 | 3.8 | |
| | 700～1,000万円未満(n=191) | 14.1 | 36.6 | 53.4 | 15.2 | 9.9 | 7.9 | 16.8 | 40.8 | 27.7 | 2.6 | 1.0 | |
| | 1,000万円以上(n=80) | 16.3 | 33.8 | 31.3 | 26.3 | 11.3 | 11.3 | 25.0 | 42.5 | 32.5 | 0.0 | 2.5 | |
| 母親職業別 | 専業主婦(n=446) | 17.3 | 33.9 | 49.8 | 17.5 | 10.3 | 8.1 | 16.8 | 37.7 | 27.6 | 1.6 | 2.9 | |
| | パート・アルバイト(n=196) | 11.7 | 32.1 | 48.0 | 14.3 | 7.1 | 6.6 | 21.9 | 45.4 | 24.5 | 1.5 | 1.5 | |
| | フルタイム勤務(n=34) | 11.8 | 26.5 | 47.1 | 20.6 | 17.6 | 8.8 | 14.7 | 29.4 | 8.8 | 0.0 | 8.8 | |
| | 自営・その他(n=24) | 8.3 | 33.3 | 29.2 | 8.3 | 4.2 | 0.0 | 12.5 | 29.2 | 29.2 | 0.0 | 12.5 | |
| 世帯主職業別 | 会社員(n=545) | 16.1 | 34.1 | 50.3 | 16.5 | 9.9 | 7.7 | 17.4 | 39.4 | 26.2 | 1.3 | 2.2 | |
| | 会社役員(n=31) | 22.6 | 32.3 | 41.9 | 16.1 | 9.7 | 6.5 | 35.5 | 41.9 | 32.3 | 0.0 | 3.2 | |
| | 公務員(n=37) | 10.8 | 32.4 | 48.6 | 21.6 | 5.4 | 5.4 | 16.2 | 43.2 | 18.9 | 2.7 | 2.7 | |
| | 医師・会計士・自由業等(n=16) | 12.5 | 18.8 | 43.8 | 12.5 | 6.3 | 6.3 | 18.8 | 50.0 | 0.0 | 6.3 | 6.3 | |
| | 商工自営(n=40) | 2.5 | 27.5 | 40.0 | 12.5 | 7.5 | 2.5 | 10.0 | 32.5 | 30.0 | 0.0 | 12.5 | |
| | その他(n=31) | 12.9 | 29.0 | 35.5 | 16.1 | 12.9 | 12.9 | 22.6 | 29.0 | 29.0 | 3.2 | 6.5 | |

時系列変化

➤ 「テレビ番組」への要望は年々減少し、「参加型セミナー/イベント」への要望は増加傾向にある。

- 時系列でみると、過去調査ではトップであった「テレビ番組を通じた情報提供」への要望は年々減少傾向にある。
- 一方「親子で参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」「子どもだけで参加できる学校教育以外のセミナーやイベント」といった参加型セミナー/イベントの支援がますます求められている傾向がうかがえる。



9.子どもに望む職業タイプ

- 1位は「専門型」、2位は「安定型」、3位は「起業型」がそれぞれ最も多い。
- 前回調査とほぼ同様の傾向。

- 子どもに望む将来の職業観/収入観について、

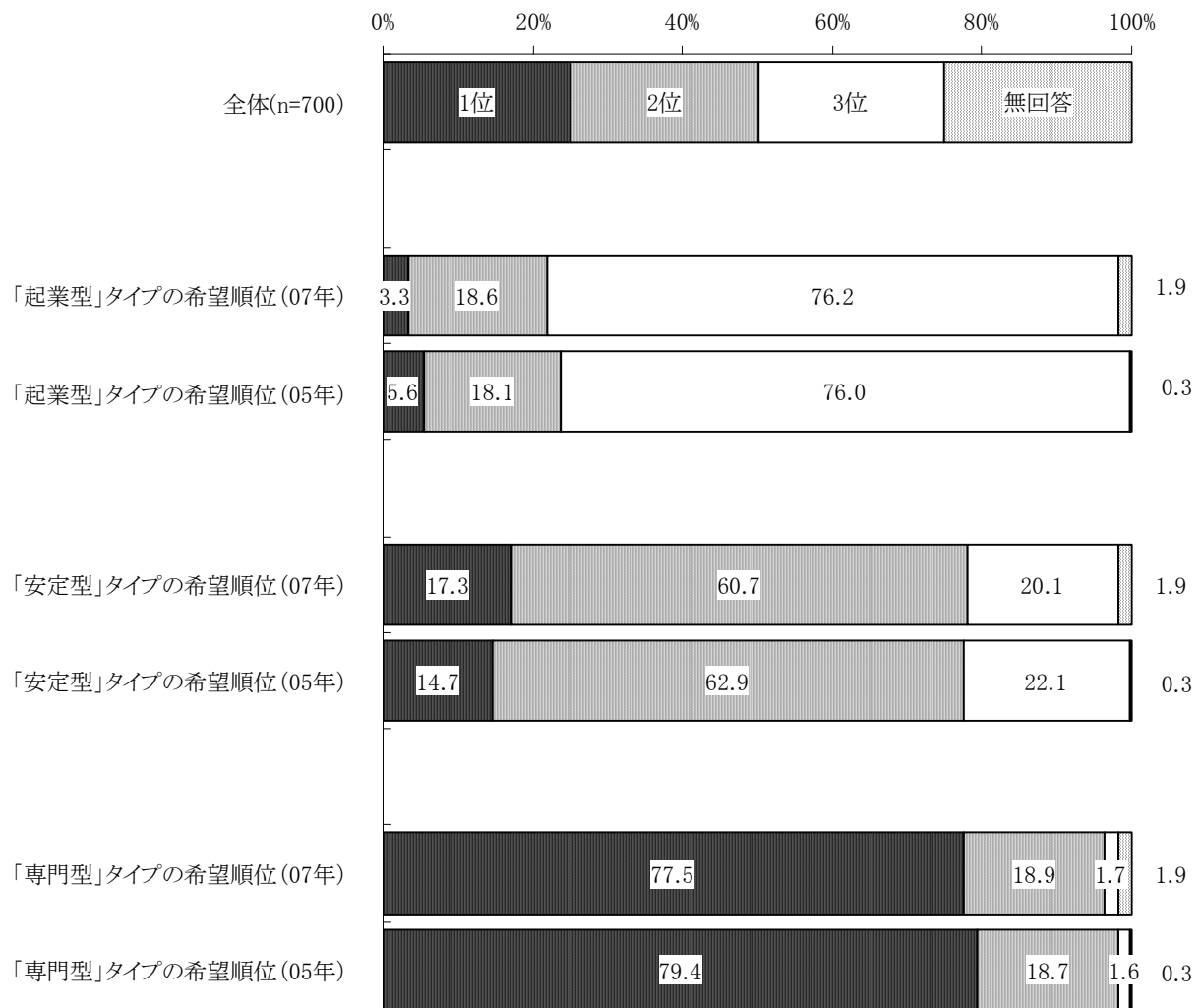
Aタイプ)『起業型』・・・自分の才覚で会社を起こし、育てていくタイプ

Bタイプ)『安定型』・・・普通に就職し、サラリーマンや職員として安定収入を確保するタイプ

Cタイプ)『専門型』・・・資格や専門技術を身につける等、専門分野で仕事をするタイプ

の3タイプについて、将来なってもらいたい順位を聞いた。

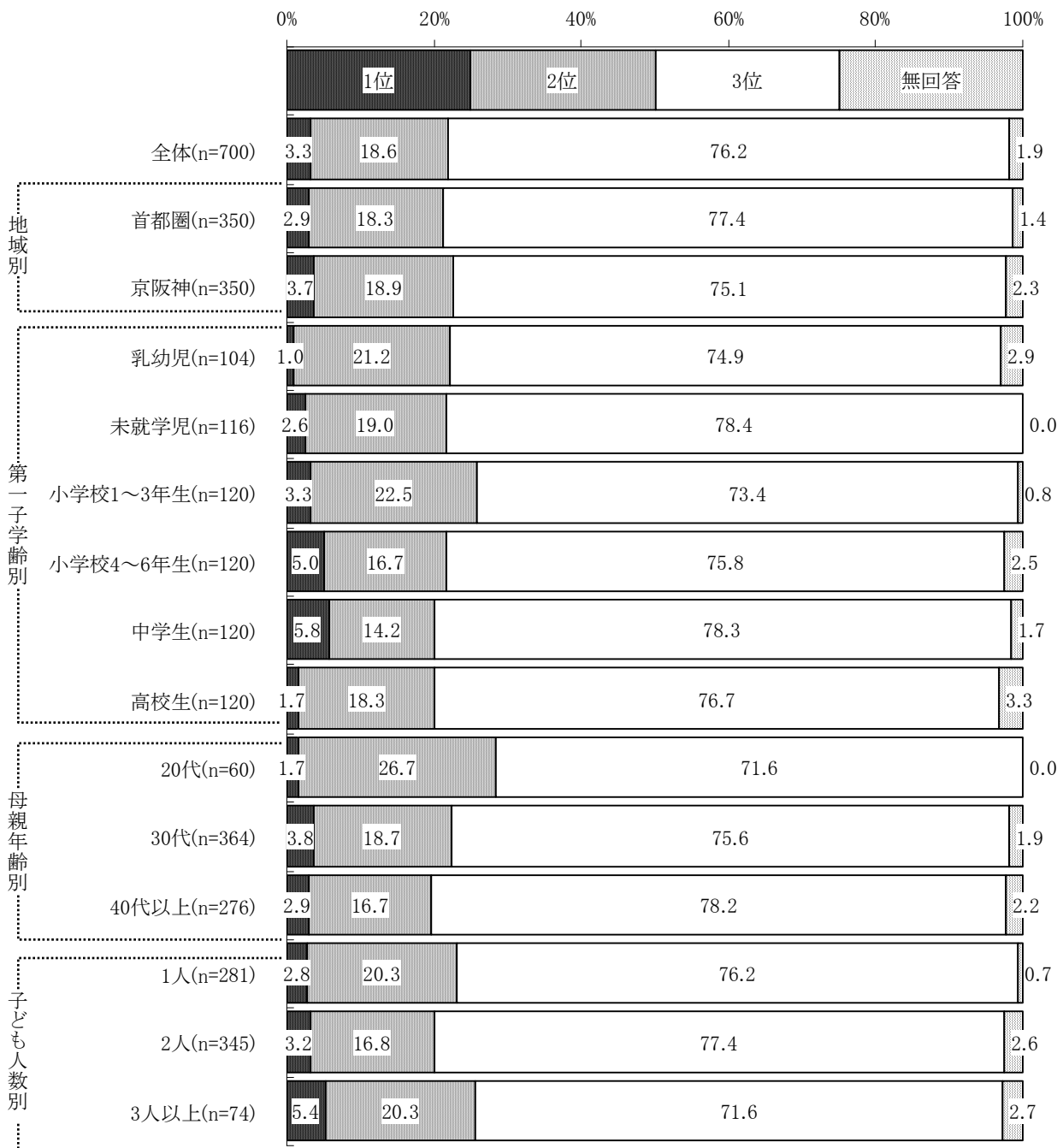
- 前回調査と結果にほとんど変化はなく、「専門型」タイプは「1位」の割合が8割近く。「安定型」タイプは「2位」の割合が6割超で多い。「起業型」タイプは「3位」とする人が8割近い。



9.子どもに望む職業タイプ(1)『起業型』の順位一

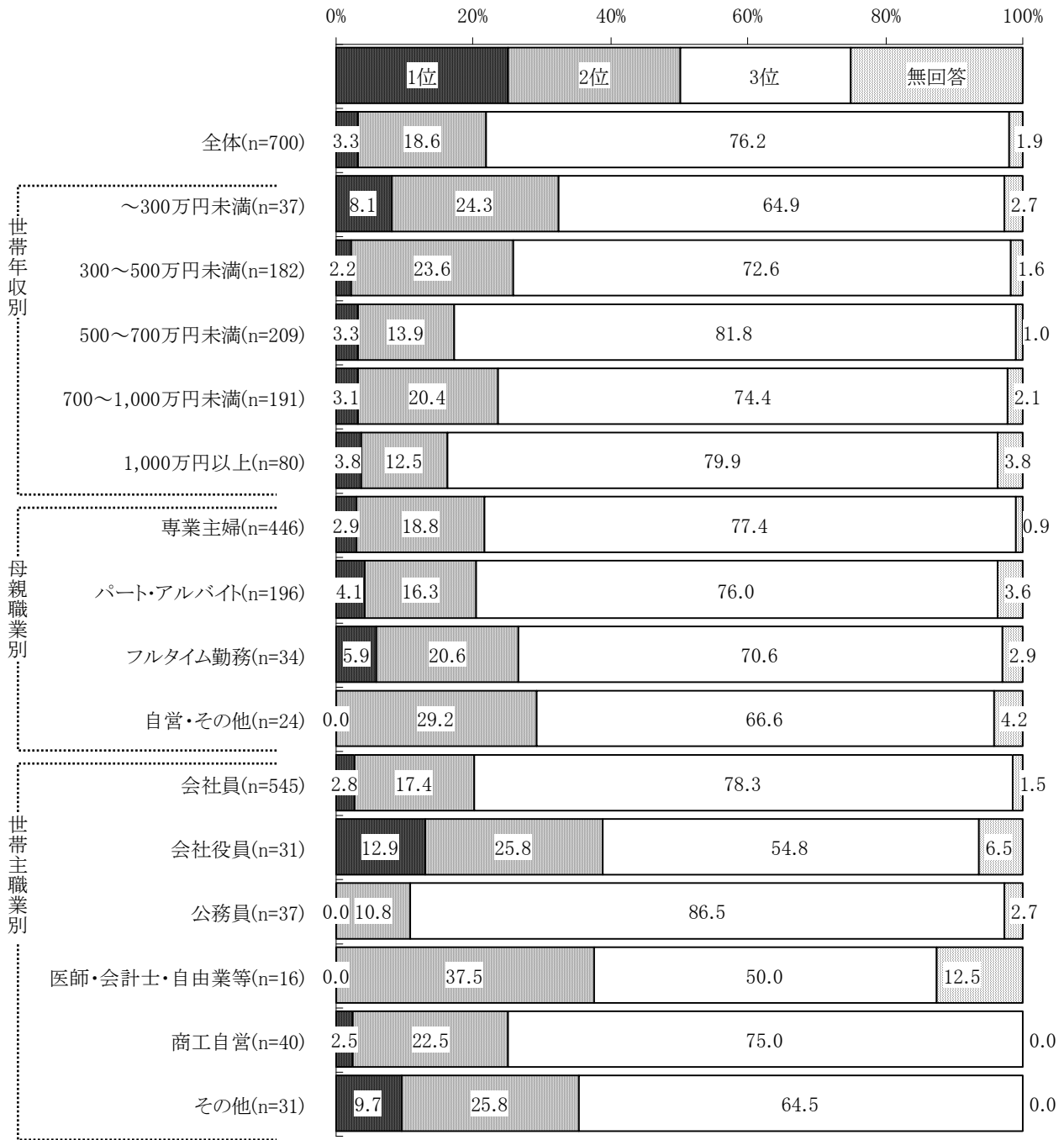
➤ 「起業型」タイプになってほしい順位は、「3位」が76%。

- 3つの仕事タイプのうち、子どもに「起業型」になってもらいたい順位は「3位」が76.2%で最も多く、「2位」が18.6%、「1位」は3.3%と低い。
- 地域別、第一子学齢別、母親年齢別、子ども人数別のいずれの場合でも「3位」が7割を超えて最も高いことで共通する。
- 母親年齢別の20代では「2位」の割合がわずかに高めとなっている。



➤ 低年収層や世帯主が会社役員等では「3位」割合が低めで、「起業型」支持がやや強い傾向。

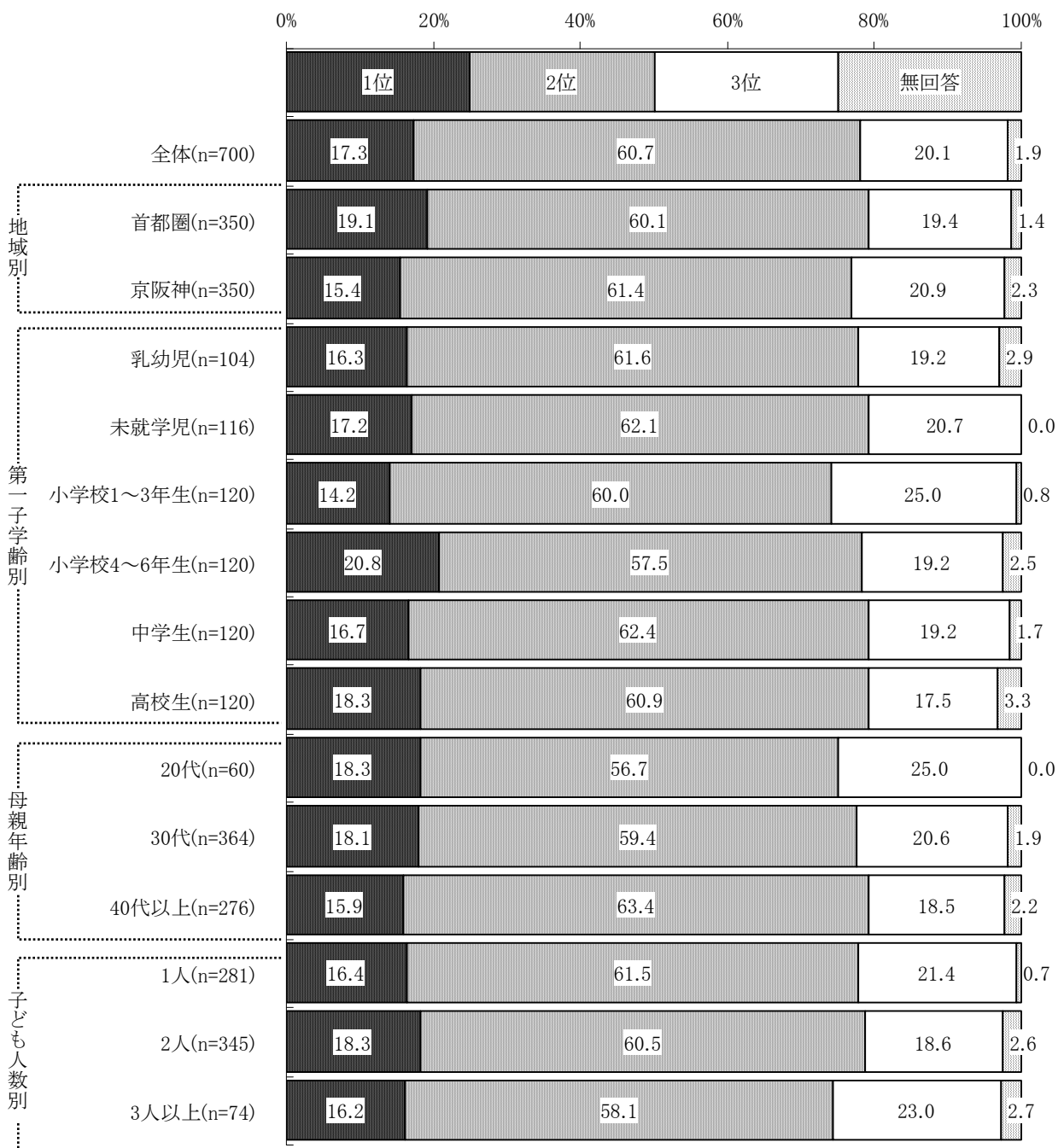
- 世帯年収別、母親年齢別、世帯主職業別、いずれの場合も「3位」の回答が最も多い。
- 世帯年収別では、～300万円未満は、それ以上の年収層に比べて「1位」+「2位」の割合が高く、比較的希望順位が高めと言える。
- 世帯主職業別にみると、会社役員や医師・会計士・自由業等の層では、「3位」の割合がやや低めであり、「起業型」への希望が他層に比べてやや高いと言える。



9.子どもに望む職業タイプ-(2)『安定型』の順位一

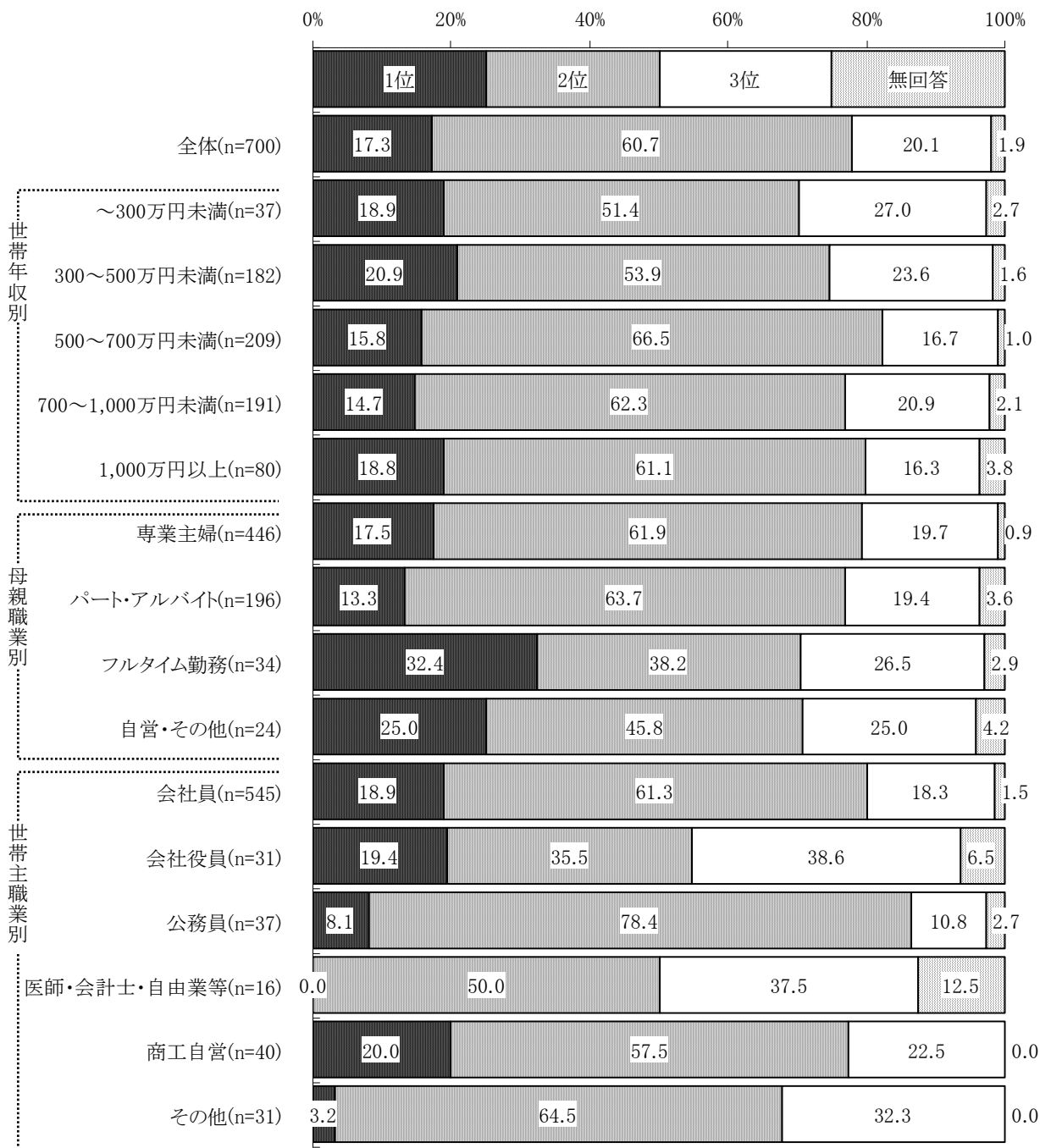
➤ 「安定型」になって欲しい順位は「2位」が6割。

- 3つの仕事タイプのうち、子どもに「安定型」タイプになってほしいという順位は、「2位」が60.7%と最も多く、次いで「3位」が20.1%、「1位」が17.3%となる。
- 地域別、第一子学齢別、母親年齢別、子ども人数別、いずれの場合でも「2位」の回答が6割程度で最も多いことで共通する。



- 母親がフルタイム勤務の場合「1位」とする人も多い。
- 世帯主が会社役員や医師・会計士・自由業等では、「安定型」への志向があまり強くない。

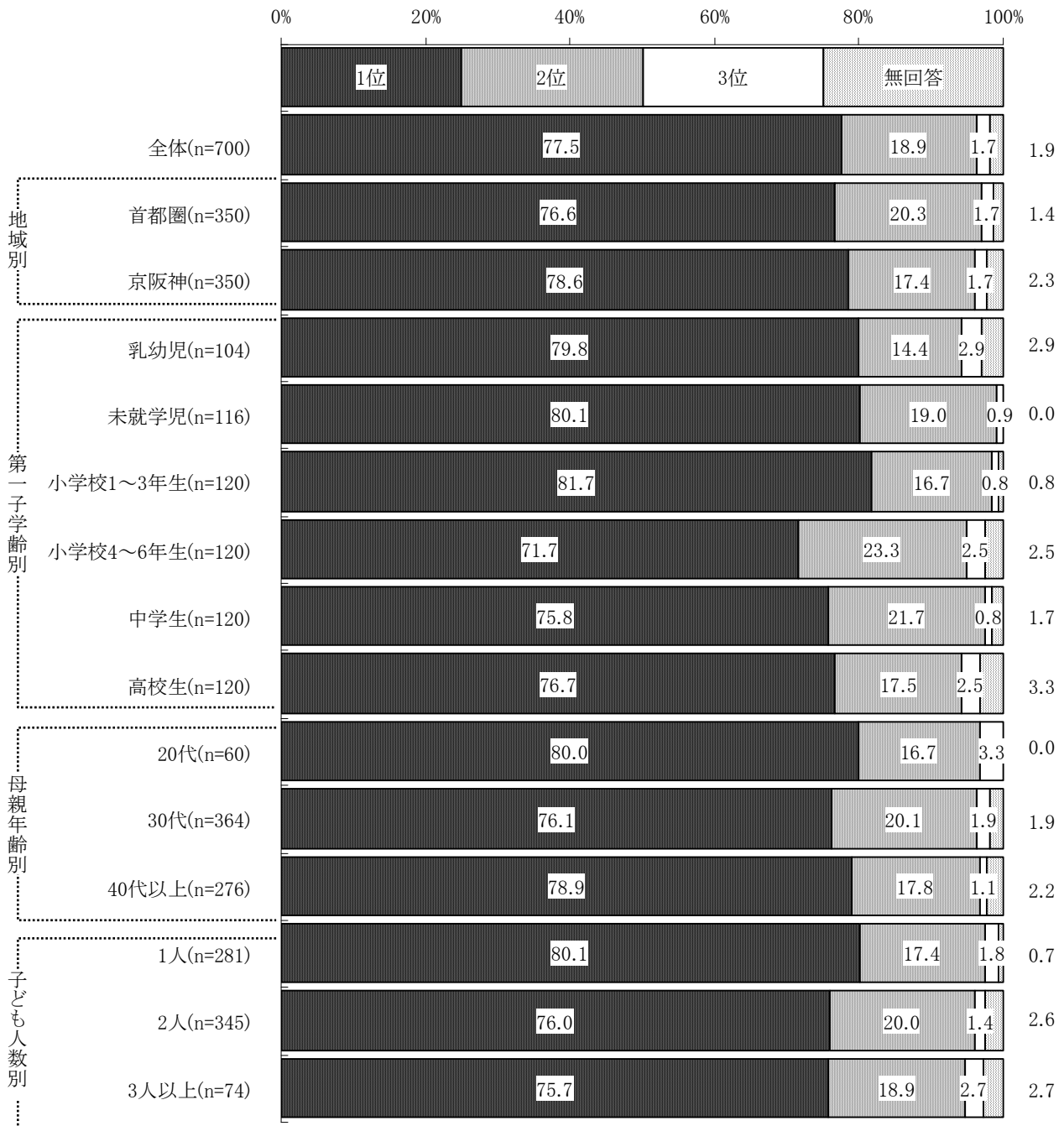
- 母親職業別にみると、フルタイム勤務の場合は「1位」(32.4%)の割合が他層に比べて高く、最も回答の多い「2位」(38.2%)の割合とあまり差がないほど高い。つまりフルタイム勤務の母親は他に比べて「安定型」への希望が強い傾向にある。
- 世帯主職業別にみると、会社役員や医師・会計士・自由業等は「3位」とする回答が4割近くで多く、「安定型」への希望が他層に比べてさほど高くないことが伺える。公務員では「2位」の回答が78.4%と特に高い。



9.子どもに望む職業タイプ-(3)『専門型』の順位一

➤ 「専門型」を「1位」とするのは8割弱と突出した人気。

- 3つの職業タイプのうち、子どもに「専門型」になってほしいと思う順位は、「1位」が77.5%と突出して多い。次いで「2位」が18.9%。
- 地域別、第一子学齢別、母親年齢別、子ども人数別、いずれの場合も「1位」の回答が7割を超えて最も多いことで共通する。



- 母親がフルタイム勤務の場合では、比較的「2位」の割合も多い。
- 世帯主が公務員、医師・会計士・自由業等では「1位」とする割合が特に高い。

- 母親職業別にみると、フルタイム勤務の層では、他層に比べて「1位」の割合が低く、「2位」の割合が高い。
- 世帯主職業別にみると、公務員や医師・会計士・自由業等では「1位」の割合が他層よりも特に高い。会社役員では「1位」が他層よりもやや低く、「2位」の割合が高い。

